

平成28年度  
高野町文化財調査年報

2018

高野町教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、平成28年度における高野町教育委員会が実施した文化財関連事業をまとめたものである。
- 2 本書に掲載した発掘調査成果の概要は、平成28年度に現状変更許可申請、埋蔵文化財発掘の通知・届出がされたものを対象としている。そのため、一部平成29年度に実施した発掘調査成果を含んでいる。
- 3 発掘調査は、高野町教育委員会職員（池田一城、飯野尚子、木本誠二）が行なった。
- 4 本書に収録した発掘調査関係の資料は、高野町教育委員会において保管している。
- 5 本書の執筆・編集は、高野町教育委員会の木本が行なった。

## 目 次

### 例 言

1 平成28年度発掘調査等の概要	1
2 史跡現状変更に伴う調査	4
3 埋蔵文化財包蔵地における調査	17
抄 録	32



## 1 平成28年度発掘調査等の概要

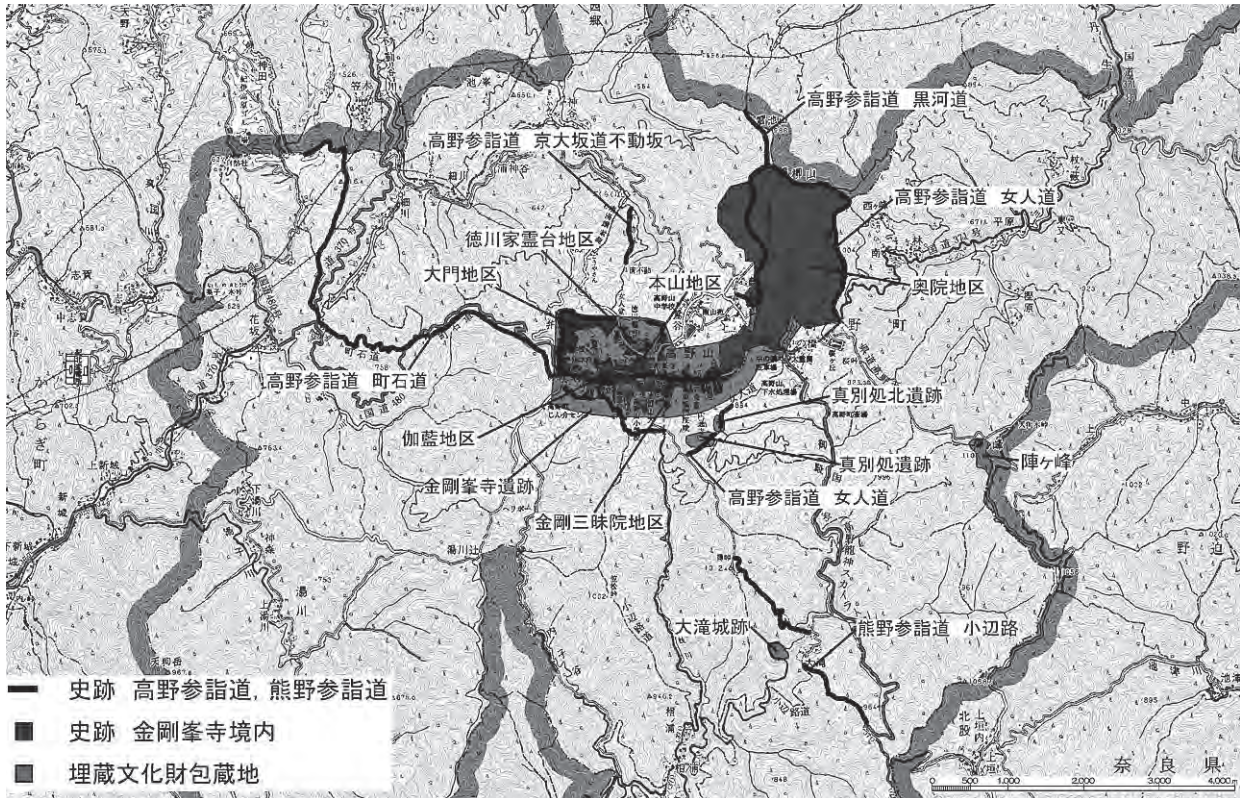
28年度に申請された史跡現状許可申請は15件、埋蔵文化財包蔵地における届出・通知は27件である。史跡では、表1のとおり立会調査13件、慎重工事が2件で大半が金剛峯寺境内の奥院地区での墓所建設・改修である。埋蔵文化財包蔵地では、表2のとおり確認調査1件、立会調査16件（内3件は工事中止）、慎重工事が10件であり、全て金剛峯寺遺跡である。

調査番号	史跡名	地区名	現状変更	調査期間	遺構	遺物	調査面積	取扱い
KBS16-01	金剛峯寺境内	伽藍地区	危険木伐採					慎重工事
KBS16-02	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	28.09.02	無	無	1.2㎡	工事立会
KBS16-03	金剛峯寺境内	伽藍地区	消火管補修	28.07.06 ～28.08.23	無	土師器 磁器等	17.5㎡	工事立会
KBS16-04	金剛峯寺境内	奥院地区	危険木伐採					慎重工事
KBS16-05	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所改修	28.10.06	無	無	0.72㎡	工事立会
KBS16-06	金剛峯寺境内	奥院地区	墓標等設置	28.10.07	無	無	0.04㎡	工事立会
KBS16-07	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	28.11.08	無	無	2.9㎡	工事立会
KBS16-08	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	28.11.11	無	無	1.7㎡	工事立会
KBS16-09	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所改修	28.11.18	無	無	1.5㎡	工事立会
KBS16-10	高野参詣道	町石道	管路設置	29.01.18	無	無	11㎡	工事立会
KBS16-11	高野参詣道	黒河道	境界杭設置	29.03.31	無	無	1㎡	工事立会
KBS16-12	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所改修	29.03.22	無	無	11㎡	工事立会
KBS16-13	金剛峯寺境内	伽藍地区	防犯設備設置	29.06.14 ～29.06.29	土坑等	銅製品	124㎡	工事立会
KBS16-14	金剛峯寺境内	伽藍地区	避雷針改修	29.05.24 ～29.05.25	無	無	2㎡	工事立会
KBS16-15	金剛峯寺境内	奥院地区	墓所建設	29.05.25	無	無	3㎡	工事立会

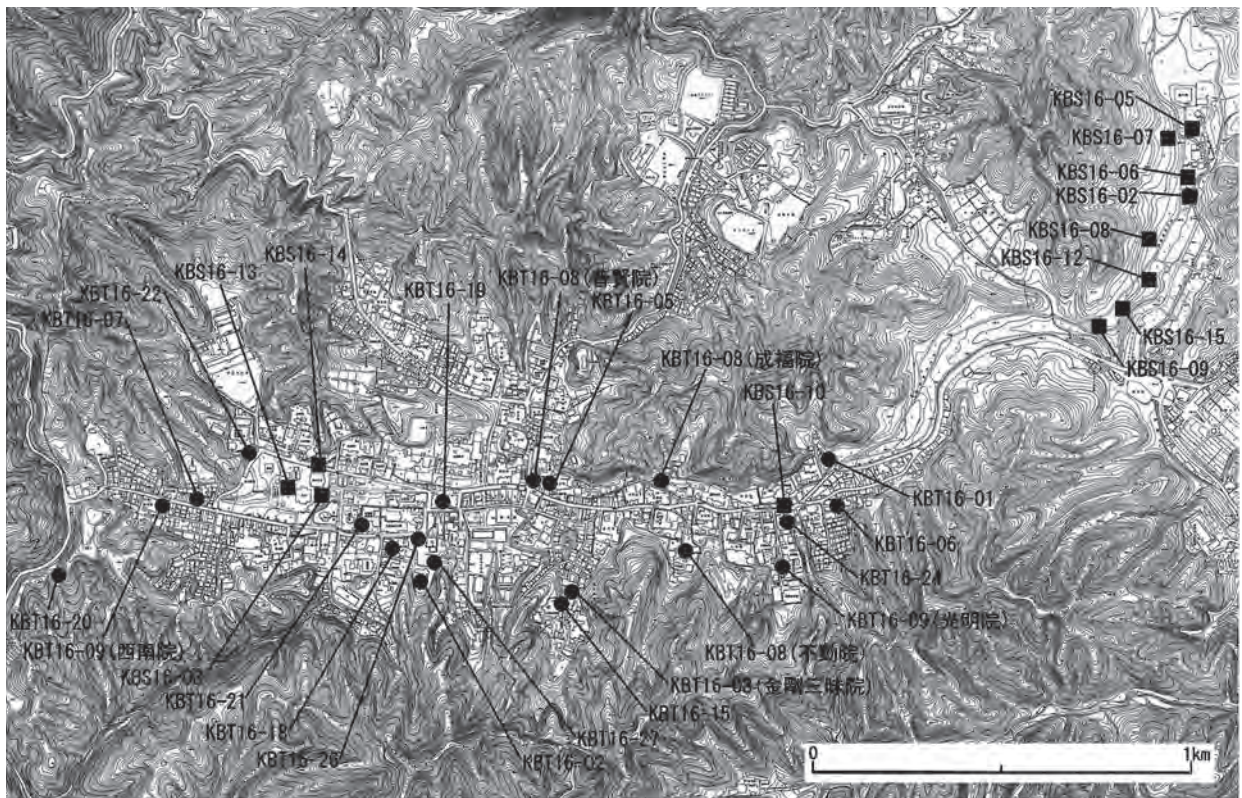
表1 平成28年度 史跡現状変更許可申請一覧表

調査番号	遺跡名	所在地	開発種別	調査期間	遺構	遺物	面積	取扱い
KBT16-01	金剛峯寺遺跡	高野山556	その他建物	28.05.13	無	無	6㎡	工事立会
KBT16-02	金剛峯寺遺跡	高野山352	その他建物	28.05.26	無	無	5㎡	工事立会
KBT16-03	金剛峯寺遺跡	高野山455	その他建物					慎重工事
KBT16-04	金剛峯寺遺跡	高野山229-1	店舗					慎重工事
KBT16-05	金剛峯寺遺跡	高野山600	その他開発	28.06.27	無	石造物等	10㎡	工事立会
KBT16-06	金剛峯寺遺跡	高野山514-2	個人住宅	28.07.25	無	無	3㎡	工事立会
KBT16-07	金剛峯寺遺跡	高野山229-1	上下水道	28.09.08	無	無	1㎡	工事立会
KBT16-08	金剛峯寺遺跡	高野山600	その他開発	28.07.07 ~28.07.11	無	無	21㎡	工事立会
KBT16-09	金剛峯寺遺跡	高野山249	その他開発	28.09.05	無	陶器	7.6㎡	工事立会
KBT16-10	金剛峯寺遺跡	高野山233-2	電気	工事中止				工事立会
KBT16-11	金剛峯寺遺跡	高野山676-1	その他開発					慎重工事
KBT16-12	金剛峯寺遺跡	高野山506	その他開発					慎重工事
KBT16-13	金剛峯寺遺跡	高野山326	その他開発					慎重工事
KBT16-14	金剛峯寺遺跡	高野山229-1	電気	工事中止				工事立会
KBT16-15	金剛峯寺遺跡	高野山425	その他開発	28.10.08	無	無	2㎡	工事立会
KBT16-16	金剛峯寺遺跡	高野山634	電話通信					慎重工事
KBT16-17	金剛峯寺遺跡	高野山49-109	その他開発					慎重工事
KBT16-18	金剛峯寺遺跡	高野山349	その他開発	28.10.26	無	無	16㎡	工事立会
KBT16-19	金剛峯寺遺跡	高野山366-1	その他開発	28.12.15	無	無	12㎡	工事立会
KBT16-20	金剛峯寺遺跡	高野山国有林 243林班ろ小班	その他開発	28.12.12 ~29.01.05	無	無	103㎡	工事立会
KBT16-21	金剛峯寺遺跡	高野山346-1		28.12.14 ~28.12.22	柱穴、溝 土坑等	瓦器、陶器 磁器、瓦等	50㎡	確認調査
KBT16-22	金剛峯寺遺跡	高野山字西院 谷94-3	電気	29.03.14	無	無	5㎡	工事立会
KBT16-23	金剛峯寺遺跡	高野山地内町 道大中1号線	電気	工事中止				工事立会
KBT16-24	金剛峯寺遺跡	高野山497	その他開発	29.01.23	無	無	200㎡	工事立会
KBT16-25	金剛峯寺遺跡	高野山346-1	その他開発					慎重工事
KBT16-26	金剛峯寺遺跡	高野山359-3	その他建物	29.03.15	無	無	66㎡	工事立会
KBT16-27	金剛峯寺遺跡	高野山字南谷 357	電話通信	29.07.04	無	無	2㎡	工事立会

表2 平成28年度 埋蔵文化財包蔵地における届出・通知一覧表



第1図 史跡・埋蔵文化財包蔵地位置図 (1 : 100,000)



第2図 調査地点位置図 (1 : 20,000)

## 2 史跡現状変更に伴う調査

### <史跡の概要>

高野町には、金剛峯寺境内、高野参詣道、熊野参詣道の3つの史跡がある。金剛峯寺境内は、大門地区、伽藍地区、本山地区、奥院地区、徳川家霊台地区、金剛三昧院地区という6地区により構成され、高野参詣道には、町石道、京大坂道不動坂、女人道、黒河道という複数の参詣道がある。これらのうち、今回現状変更に伴う調査を実施したのは、金剛峯寺境内の奥院地区と伽藍地区、高野参詣道の町石道と黒河道である。

金剛峯寺境内の奥院地区は、高野山の外八葉と呼ばれる山々に囲まれた盆地状平坦地の東部にあり、承和2年(835)に入定した空海の御廟のある聖地であり、一の橋から御廟に至る約2kmの参道の両側には樹齢数百年の杉が林立し、数十万基ともいわれる墓石や供養塔が建ち並ぶ。金剛峯寺境内の伽藍地区は、盆地状平坦地の西部にあり、弁天岳から東へ延びる尾根先端の緩傾斜地を利用して広い平坦面を造成している。ここは壇上伽藍と呼ばれ、空海が高野山を開創するにあたり最初に開かれた場所で、奥之院と並ぶ高野山の二大聖地とされる。現在壇上伽藍には、高野山の鎮守として空海が勧請した明神社の他、西塔、孔雀堂、准胝堂、御影堂、六角経蔵、金堂、根本大塔、鐘楼、愛染堂、大会堂、三昧堂、金剛峯寺不動堂、東塔が建ち並び、これらの諸堂や堂内の仏像により真言密教の教義である胎蔵界曼荼羅が表現されている。高野参詣道の町石道は、高野山の壇上伽藍を基点とし山麓の慈尊院に至る区間と、壇上伽藍から奥之院に至る区間に分かれる。道沿いには1町毎に五輪塔形の町石が建ち、壇上伽藍から慈尊院の間に180基、壇上伽藍から奥之院の御廟の間に36基の計216基の町石がある。この町石は、鎌倉時代に覚敷の発願によって行なわれ、文永2年(1265)から20年をかけて弘安8年(1285)に完成している。高野参詣道の黒河道は、大和街道からの参詣者に利用された道で、少なくとも16世紀には成立していた。

### KBS 16-02

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 史跡名   | 金剛峯寺境内    |
| 2 地区名   | 奥院地区      |
| 3 調査主体  | 高野町教育委員会  |
| 4 調査担当者 | 池田一城・木本誠二 |
| 5 調査の期間 | 平成28年9月2日 |
| 6 調査原因  | 墓所建設      |
| 7 調査の概要 |           |



第3図 調査の位置 (1:5,000)

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から茶褐色粘質土(表土)、にぶい黄灰褐色粘質土、淡黄褐色粘質土となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



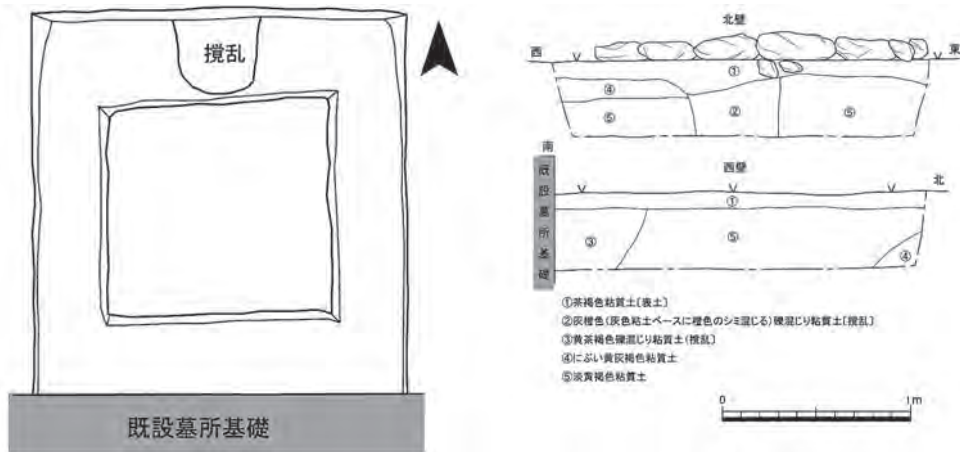
第4図 調査区全景



第5図 北壁土層断面



第6図 西壁土層断面



第7図 平面・断面図 (1:40)

### KBS 16-03

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 伽藍地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年7月6日～8月23日
- 6 調査原因 防災消火管補修
- 7 調査の概要



第8図 調査の位置 (1:5,000)

防災消火管補修のため、既設管補修の掘削時に立会調査を実施した。立会地点は、西塔南、根本大塔南西、蓮池北西で各1地点、蓮池南西で2地点の計5地点になる。

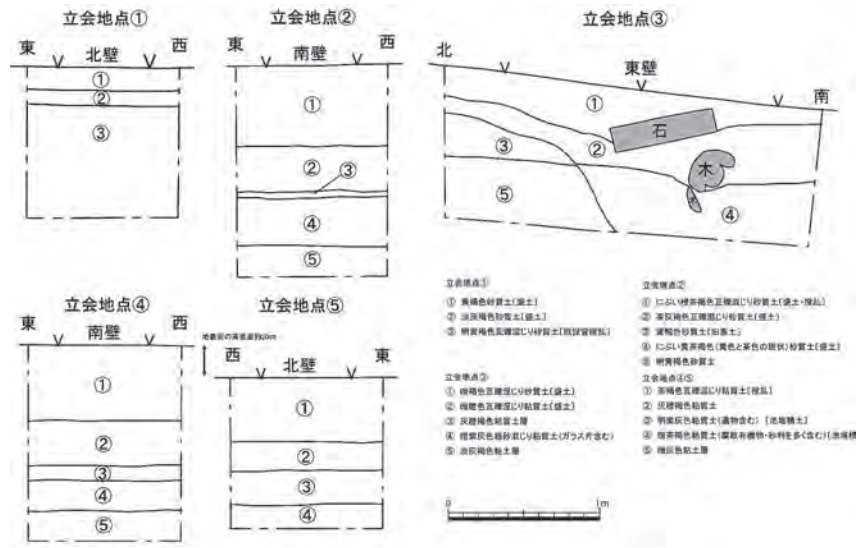
西塔南地点で確認した土層は、上から黄褐色砂質土(盛土)、淡灰褐色砂質土(盛土)、明黄褐色瓦礫混じり砂質土(既設管による攪乱)であり、遺物、遺構は確認できなかった。

根本大塔南西地点では、上からにぶい橙茶褐色瓦礫混じり砂質土(盛土)、茶灰褐色瓦礫混じり砂質土(盛土)、黄褐色砂質土(旧表土)、にぶい黄茶褐色砂質土(整地土)、明黄褐色砂質土である。現地表面より約80cm以下に過去の壇上伽藍の造成を示す複数面の遺構面が存在することを確認した。遺物等が確認できなかったため、遺構面の所属時期は不明である。

蓮池北西地点では、上から暗褐色瓦礫混じり砂質土(盛土)、暗橙色瓦礫混じり砂質土(盛土)、暗紫灰色粗砂混じり粘質土(攪乱)、灰橙褐色粘質土、淡灰褐色粘土層となっている。上から3層までは多量の木材と共にガラス片などが含まれることから、昭和初期の金堂焼失時の焼失材等を廃棄したものと思われる。その他は遺物、遺構等は確認できなかった。

蓮池南西では、2地点とも同様の層序を示しており、上から茶褐色瓦礫混じり粘質土(攪乱)、灰橙色褐色粘質土、明紫灰色粘質土(池の堆積土)、腐敗有機物を多く含む暗茶褐色粘質土(池の堆積土)、暗灰色粘土である。池の堆積土からは、近世以降の土器類が含まれている。これらは近世から現在にかけての複数回に及ぶ蓮池改修に関連するものであり、かつての蓮池の範囲が、現在よりやや広い範囲に及んでいたと思われる。





第9図 土層断面図 (1:40)



第10図 地点①



第11図 地点②



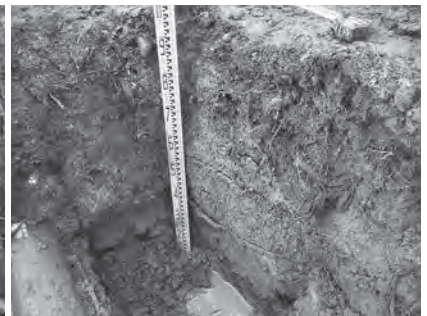
第12図 地点③ 東壁



第13図 地点③ 西壁



第14図 地点④



第15図 地点⑤

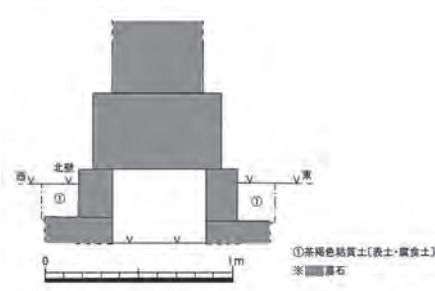
### KBS 16-05

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年10月6日
- 6 調査原因 墓所改修
- 7 調査の概要



第16図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所改修に伴う既存墓石周囲の掘削時の立会調査を実施した。確認した土層は、茶褐色粘質土（表土）のみであり、遺物、遺構は確認できなかった。



第17図 土層断面図 (1 : 40)



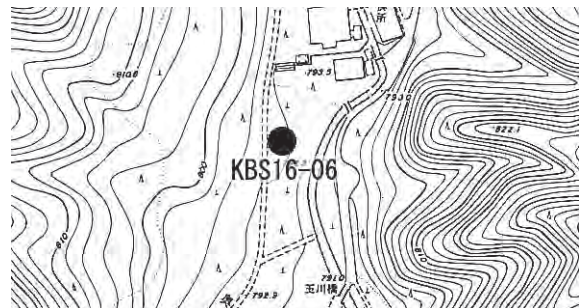
第18図 調査区全景



第19図 土層断面

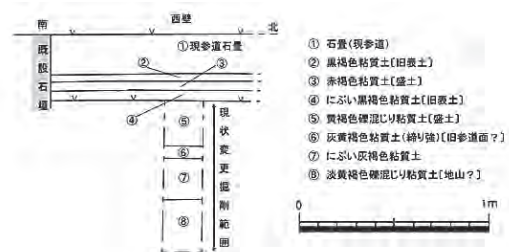
### KBS 16-06

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年10月7日
- 6 調査原因 墓標及び墓所階段設置
- 7 調査の概要



第20図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所階段設置には掘削は伴わないため、墓標設置時に立会調査を実施した。墓標設置場所は、現在の石畳の参道の西側であり、参道より約35cm段状に低くなっている。確認した土層は、上から参道石畳、黒褐色粘質土（旧表土）、赤褐色粘質土（盛土）、にぶい黒褐色粘質土（旧表土）、黄褐色礫混じり粘質土（盛土）、灰黄褐色粘質土（旧道路面）、にぶい灰褐色粘質土、淡黄褐色礫混じり粘質土（地山）である。現在の石畳の参道より下層に旧道路面と思われる遺構面が複数面存在することを確認した。遺物等を確認していないため各遺構面の所属時期については不明である。



第21図 土層断面図 (1 : 40)



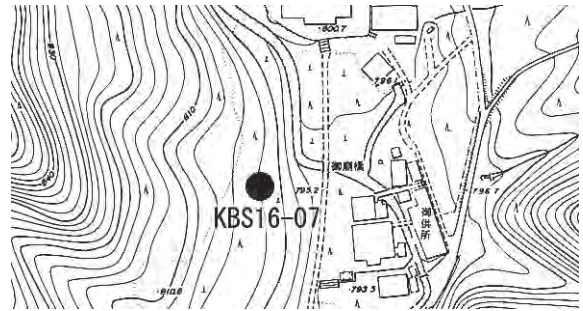
第22図 土層断面



第23図 土層断面 (近接)

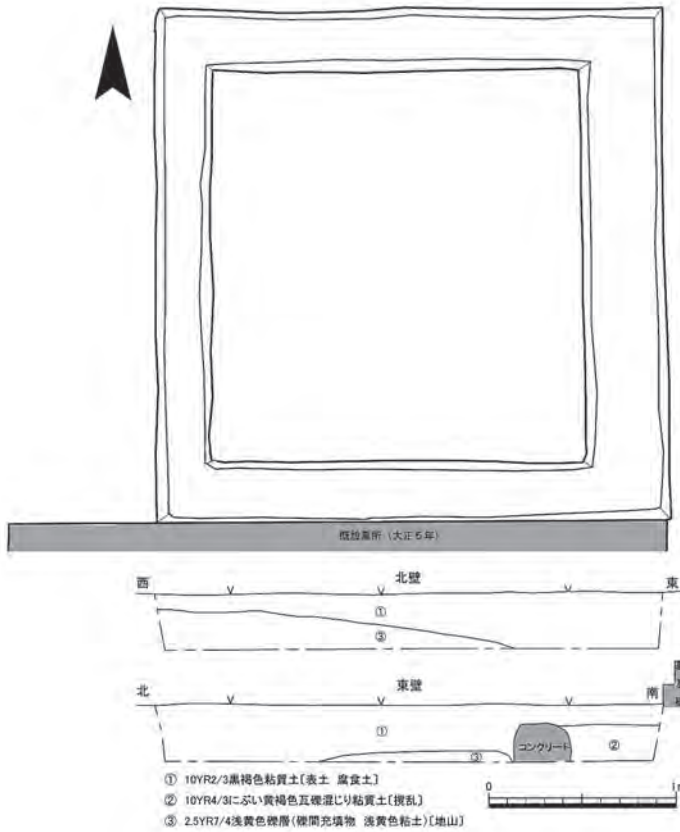
KBS 16-07

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二・飯野尚子
- 5 調査の期間 平成28年11月8日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要



第24図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から黒褐色粘質土 (表土)、にぶい黄褐色瓦礫混じり粘質土 (攪乱)、浅黄色礫層 (地山) となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第25図 平面・断面図 (1 : 40)



第26図 調査区全景



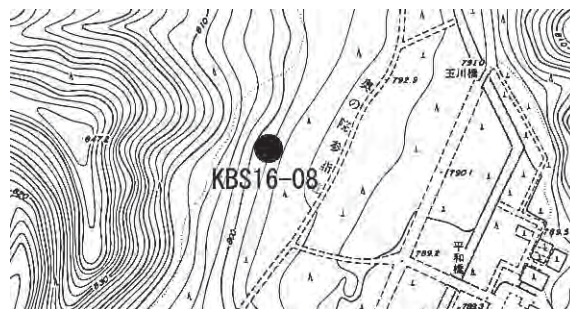
第27図 北壁土層断面



第28図 東壁土層断面

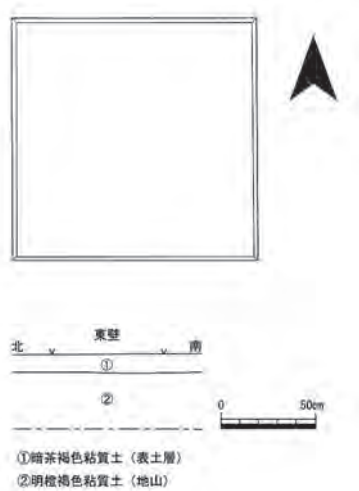
### KBS 16-08

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年11月11日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要



第29図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所の基礎部分の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から暗茶褐色粘質土（表土）、明橙褐色粘質土（地山）となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第30図 平面・断面図 (1 : 40)



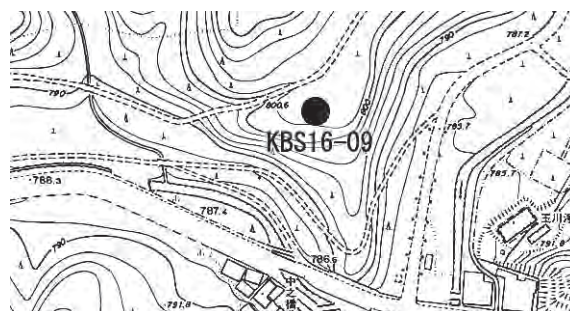
第31図 調査区全景



第32図 東壁土層断面

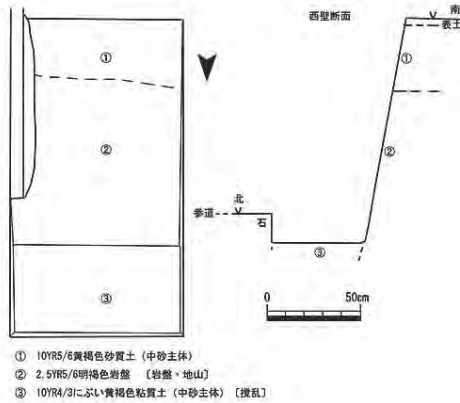
### KBS 16-09

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・飯野尚子
- 5 調査の期間 平成28年11月18日
- 6 調査原因 墓所改修
- 7 調査の概要



第33図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所改修に伴う掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から黄褐色砂質土、明褐色の岩盤（地山）となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第34図 平面・断面図 (1:40)



第35図 調査区全景

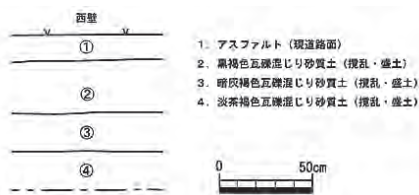
### KBS 16-10

- 1 史跡名 高野参詣道
- 2 地区名 町石道
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年1月18日
- 6 調査原因 管路埋設
- 7 調査の概要



第36図 調査の位置 (1:5,000)

電信電話線の管路埋設の掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上からアスファルト、黒褐色瓦礫混じり砂質土 (盛土)、暗灰褐色瓦礫混じり砂質土 (盛土)、淡茶褐色瓦礫混じり砂質土 (盛土) となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第37図 土層断面図 (1:40)



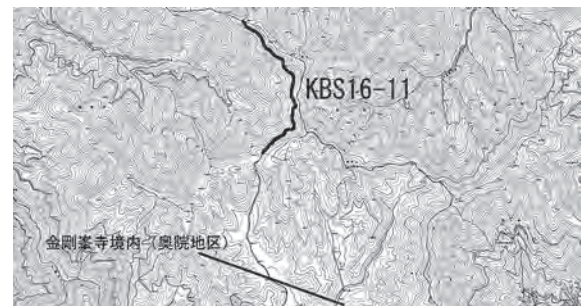
第38図 調査区全景



第39図 土層断面

### KBS 16-11

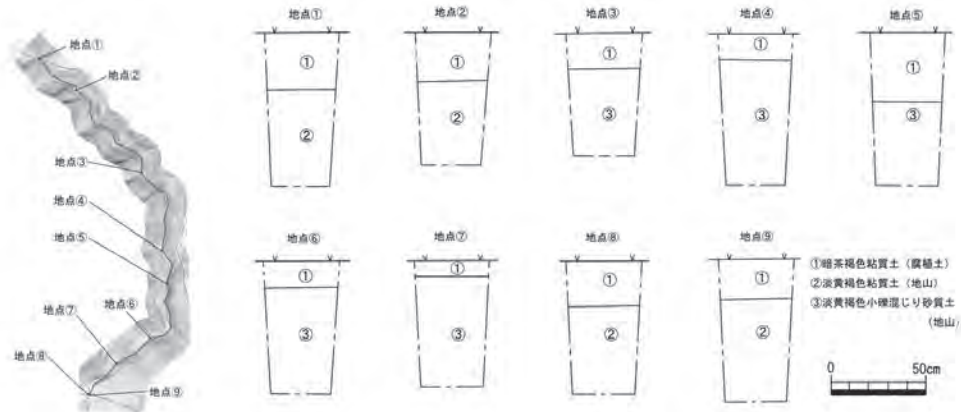
- 1 史跡名 高野参詣道
- 2 地区名 黒河道
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年3月31日
- 6 調査原因 境界杭設置
- 7 調査の概要



第40図 調査の位置 (1:50,000)

境界杭設置に伴う掘削時に立会調査を行なった。境界杭の設置は9地点であり、どの地点も同様の層序を

示しており、上から暗茶褐色粘質土（表土）、淡黄褐色粘質土もしくは、淡黄褐色小礫混じり砂質土（地山）となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第41図 土層断面図 (1 : 40)



第42図 地点①



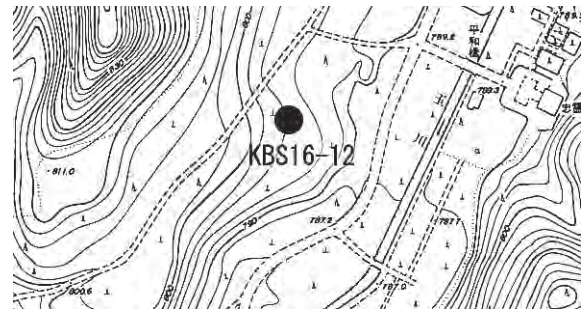
第43図 地点⑤



第44図 地点⑨

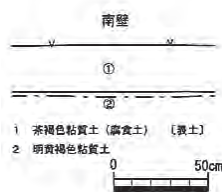
KBS 16-12

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年3月22日
- 6 調査原因 墓所改修
- 7 調査の概要



第45図 調査の位置 (1 : 5,000)

墓所改修に伴う掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から茶褐色粘質土（表土）、明黄褐色粘質土となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第46図 土層断面図 (1 : 40)



第47図 調査区全景



第48図 土層断面

## KBS 16-13

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 伽藍地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年6月14日～6月20日
- 6 調査原因 防犯設備（防犯カメラ）設置
- 7 調査の概要

伽藍地区への防犯カメラ設置に伴う支柱設置及び配管埋設の掘削時に立会調査を実施した。配管に伴う掘削は幅約30cm、深さ約30cm、延長約415m、支柱の掘削は径約30cm、深さ約1mとなる。立会地点が多いため、幾つかの地区に分けて概要を述べる。



第49図 調査の位置（1：2,000）

A地点（西塔～山王院鐘楼）では、地表面を構成する盛土層の下に遺構面を構成する整地層があり、その間に壇上伽藍の大火に関連すると思われる炭化物包含層がみられる。調査範囲内では地山は確認できない。B地点（山王院鐘楼～御影堂）では、地表面を構成する盛土層の下に遺構面を構成する複数の整地層があり、その下に地山層がある。地山は、御影堂付近のみで見られ、地山を掘りこんだ複数の遺構を検出した。遺物等が確認できなかったため、検出した遺構や遺構面の時期や性格については不明である。C地点（御影堂と准胝堂の間）ではB地点と同様、盛土層の下に整地層、地山と続き、地山を掘りこんだ遺構を検出した。D地点（孔雀堂と准胝堂の裏）では、盛土層の下に地山があり、その間に明瞭な整地層は確認できない。近現代に造成され、現在の平坦面が形成されたものと思われる。E地点（御影堂裏～大塔裏）では、盛土層の下に整地層、地山と続く。整地層の下から建物を装飾する金具の一部と思われる銅製の鋳が1点出土しており、包含層中には他にも銅製品片が幾つか含まれる。F地点（大塔裏）では、地表面を構成する盛土層の下に地山があり、その間に明瞭な整地層は確認できない。D地点同様、近現代に造成されたものと思われる。G地点（大塔東～中門の平坦面縁辺）では、地表面を構成する表土層と盛土層のみが確認できる。D、F地点同様、近現代に造成されたものと思われる。

今回の立会調査は深さ約30cmの浅い掘削に伴うものであったが、造成以前の壇上伽藍は、現在とは大きく異なる複雑な地形を呈していること、御影堂付近は地山が高く壇上伽藍の中でも安定した場所を選択していることなどが明らかとなった。



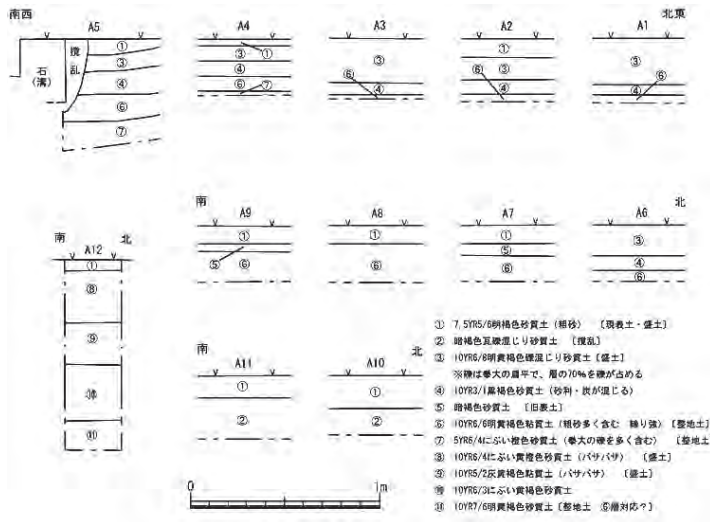
第50図 掘削状況 A地点



第51図 掘削状況 B地点



第52図 掘削状況 C地点



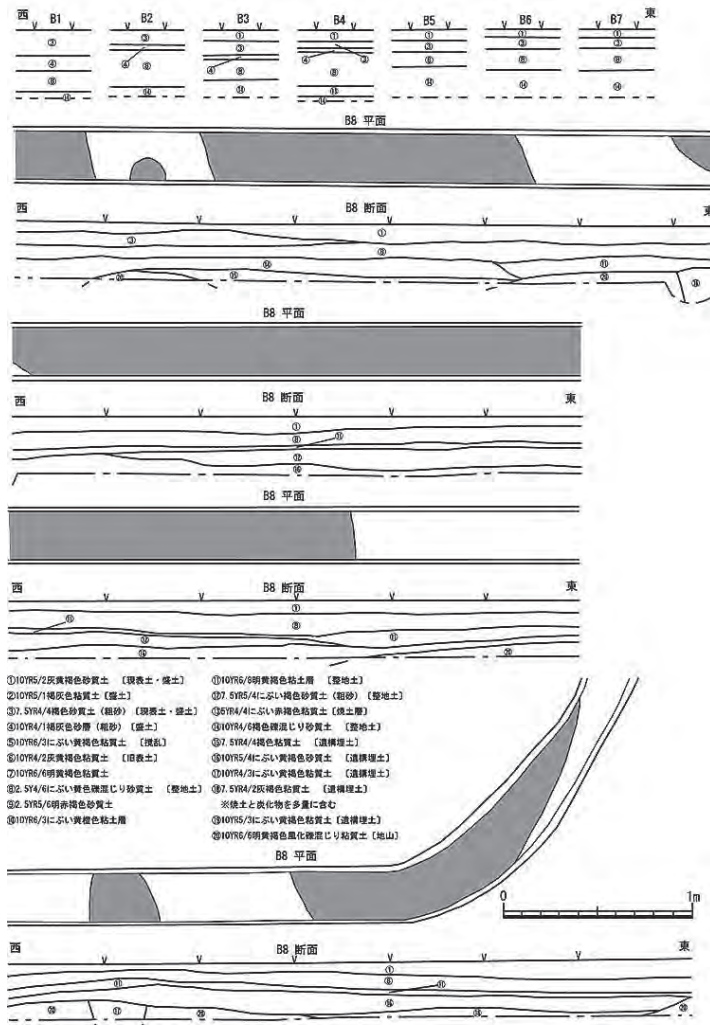
第53図 A地点 土層断面図 (1:40)



第54図 土層断面 A3地点



第55図 土層断面 A10地点



第56図 B地点 平面・断面図 (1:40)



第57図 土層断面 B4地点

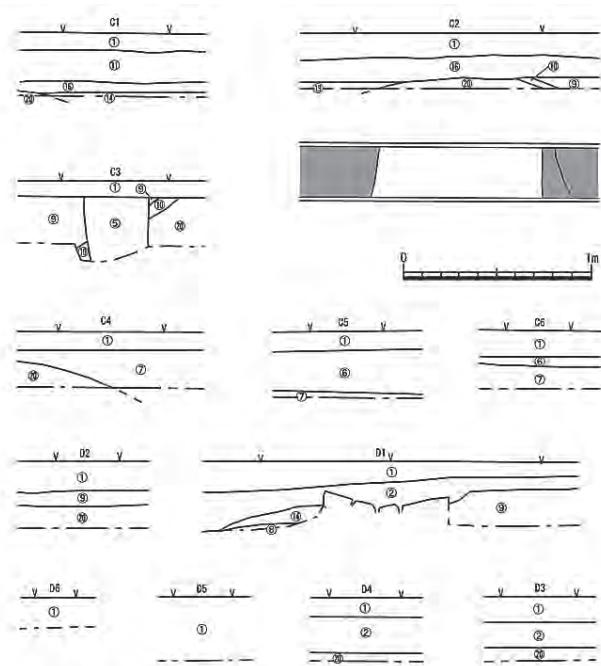


第58図 土層断面 B8地点



第59図 遺構検出状況 B8地点





- ①10YR5/2灰黄褐色砂質土【現表土・盛土】
- ②10YR5/1褐灰色粘質土【盛土】
- ③7.5YR4/4褐色砂質土【粗砂】
- ④10YR4/1褐灰色砂層【粗砂】
- ⑤10YR6/3にふい黄褐色粘質土【攪乱土】
- ⑥10YR4/2灰黄褐色粘質土【旧表土】
- ⑦10YR6/6明黄褐色粘質土
- ⑧2.5Y4/6にふい黄色礫混じり砂質土【整地土】
- ⑨2.5YR5/6明赤褐色砂質土
- ⑩10YR6/3にふい黄褐色粘土層
- ⑪10YR6/8明黄褐色粘土層【整地土】
- ⑫7.5YR5/4にふい褐色砂質土【粗砂】
- ⑬5YR4/4にふい赤褐色粘質土【焼土層】
- ⑭10YR4/6褐色礫混じり砂質土【整地土】
- ⑮7.5YR4/4褐色粘質土【遺構埋土】
- ⑯10YR5/4にふい黄褐色砂質土【遺構埋土】
- ⑰10YR4/3にふい黄褐色粘質土【遺構埋土】
- ⑱7.5YR4/2灰褐色粘質土【遺構埋土】
- ※焼土と炭化物を多量に含む
- ⑲10YR5/3にふい黄褐色粘質土【遺構埋土】
- ⑳10YR6/6明黄褐色風化礫混じり粘質土【地山】

第60図 C・D地点 平面・断面図(1:40)



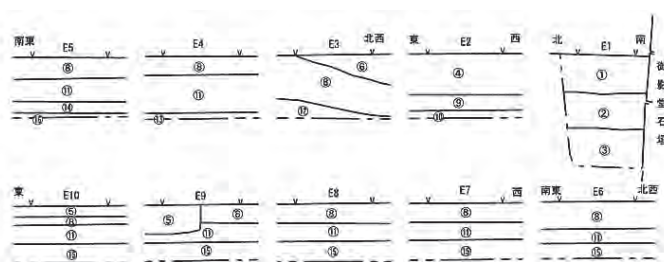
第61図 土層断面 C3地点



第62図 土層断面 D2地点



第63図 土層断面 D4地点



- ①10YR4/4褐色粘質土【表土層・石垣壁方埋土】
- ②10YR5/3にふい黄褐色砂質土【石垣壁方埋土】
- ③7.5YR5/4にふい褐色粘質土【石垣壁方埋土】
- ④10YR5/2灰黄褐色互礫混じり砂質土【表土層】
- ⑤7.5YR4/4褐色砂質土【粗砂】
- ⑥10YR8/6黄褐色砂質土【盛土】
- ⑦10YR3/2黒褐色砂質土【盛土】
- ⑧7.5YR5/4にふい褐色砂質土【盛土】
- ⑨10YR4/2灰黄褐色砂質土【旧表土】
- ⑩10YR4/6褐色礫混じり砂質土【整地土】
- ⑪10YR7/4にふい黄褐色砂質土【整地土】
- ⑫7.5YR4/1褐灰色粘質土【砂利と炭多く含む】
- ⑬10YR6/4にふい黄褐色砂質土【包含層】
- ⑭10YR6/4にふい黄褐色粘質土【包含層】
- ⑮7.5YR4/6褐色砂質土【包含層】
- ⑯5YR6/6褐色砂質土【地山?】
- ⑰5YR5/8明赤褐色砂質土【風化岩盤層】
- ⑱7.5YR4/1褐灰色砂質土【砂利と炭多く含む】
- ⑲10YR6/4にふい黄褐色粘質土【包含層】
- ※層上端が茶紋に茶褐色を呈する
- ⑳7.5YR4/6褐色砂質土【包含層】
- ㉑5YR6/6褐色砂質土【地山?】
- ㉒5YR5/8明赤褐色砂質土【風化岩盤層】

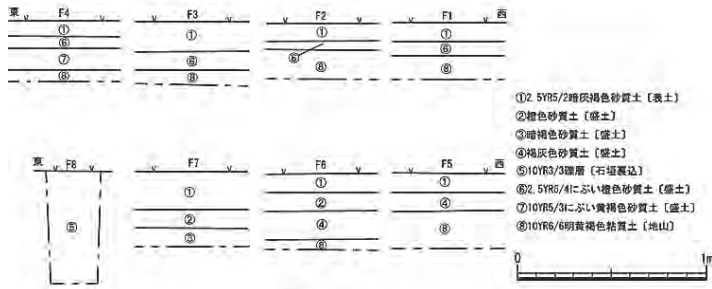
第64図 E地点 土層断面図(1:40)



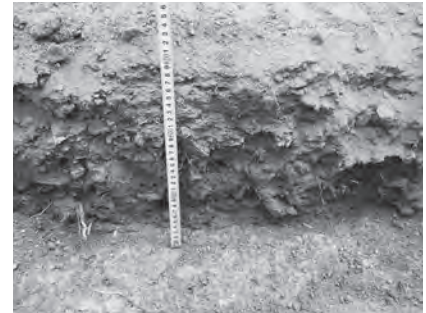
第65図 土層断面 E1地点



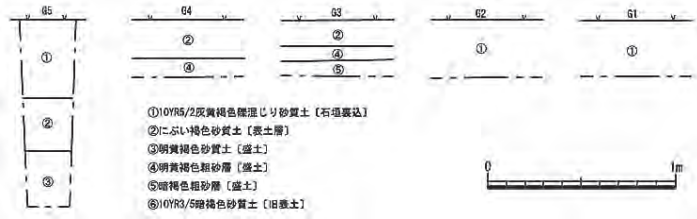
第66図 土層断面 E3地点



第67図 F地点 土層断面図 (1:40)



第68図 土層断面 F4地点



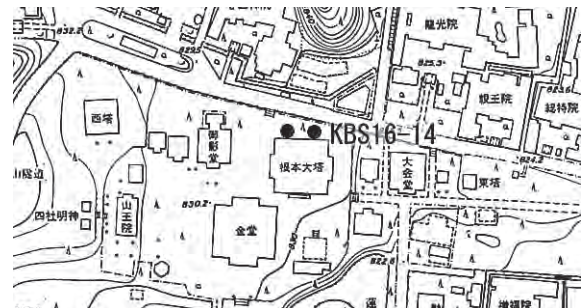
第69図 G地点 土層断面図 (1:40)



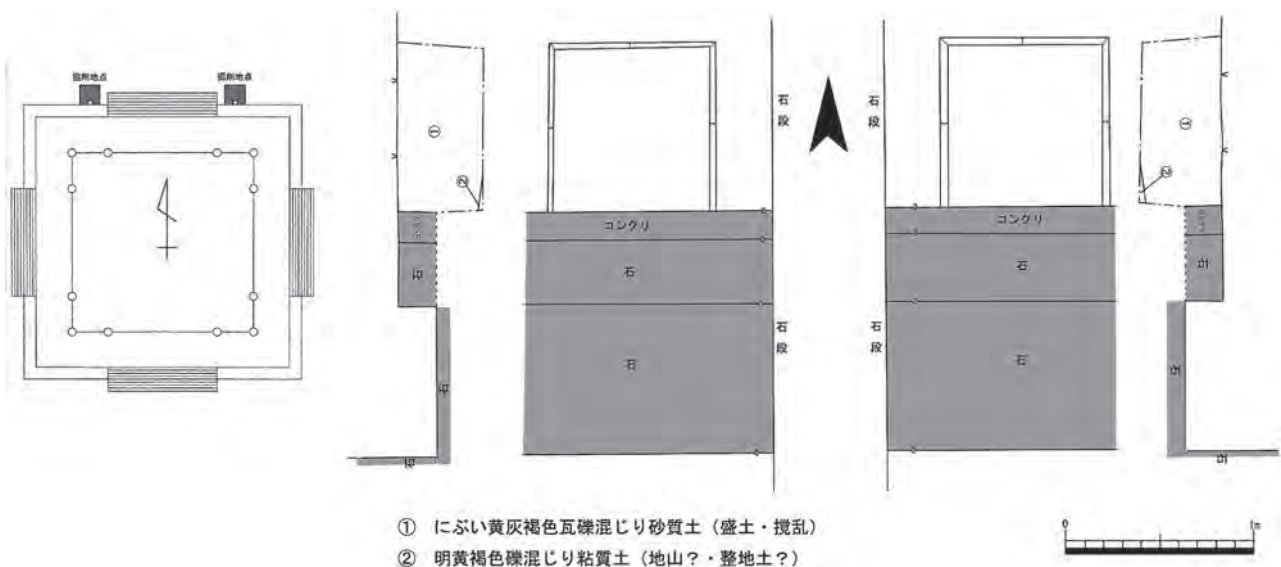
第70図 土層断面 G3地点

### KBS 16-14

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 伽藍地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二・飯野尚子
- 5 調査の期間 平成29年5月24日～5月25日
- 6 調査原因 避雷針改修



第71図 調査の位置 (1:5,000)



第72図 平面・断面図 (1:40)

## 7 調査の概要

避雷針改修に伴う掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上からにぶい黄灰褐色瓦礫混じり砂質土（盛土・攪乱）、明黄褐色礫混じり粘質土であり、遺物、遺構は確認できなかった。



第73図 調査地全景（掘削前）



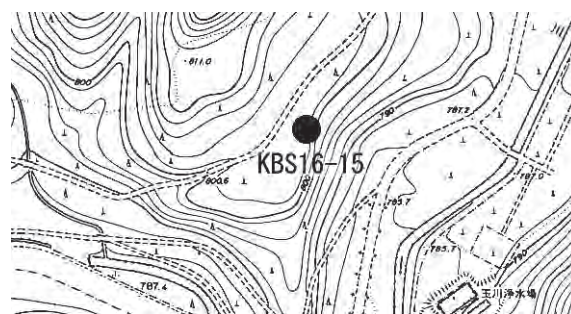
第74図 土層断面 西地点



第75図 土層断面 東地点

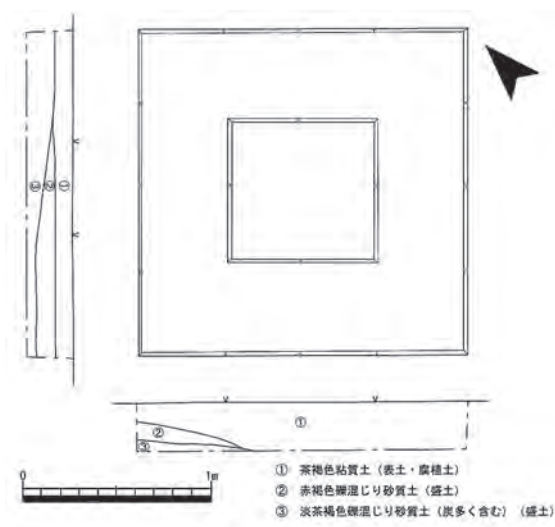
### KBS 16-15

- 1 史跡名 金剛峯寺境内
- 2 地区名 奥院地区
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年5月25日
- 6 調査原因 墓所建設
- 7 調査の概要



第76図 調査の位置（1：5,000）

墓所建設に伴う基礎掘削時に立会調査を実施した。確認した土層は、上から茶褐色粘質土（表土）、赤褐色礫混じり砂質土（盛土）、淡茶褐色礫混じり砂質土（盛土）であり、遺物、遺構は確認できなかった。



第77図 平面・断面図（1：40）



第78図 北西壁 土層断面



第79図 南西壁 土層断面

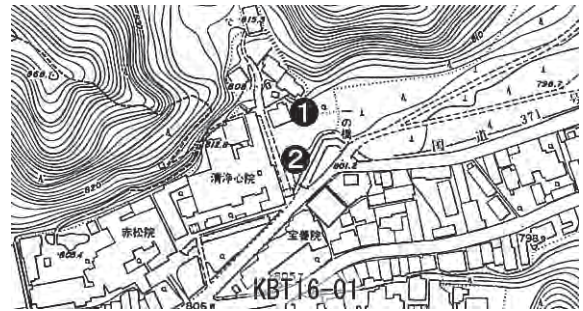
### 3 埋蔵文化財包蔵地における調査

#### <遺跡の概要>

平成28年度中に調査が行なわれた遺跡は、金剛峯寺遺跡のみである。金剛峯寺遺跡は、高野山の外八葉と呼ばれる山々に囲まれた山上の盆地状平坦地のほぼ全てを包括する平安時代以降の寺院跡である。近世には1,000を超える子院が建ち並び、現在も117か寺の子院が建ち並ぶ。金剛峯寺遺跡のうち、特に重要なものについては、金剛峯寺境内として国の史跡に指定されている。

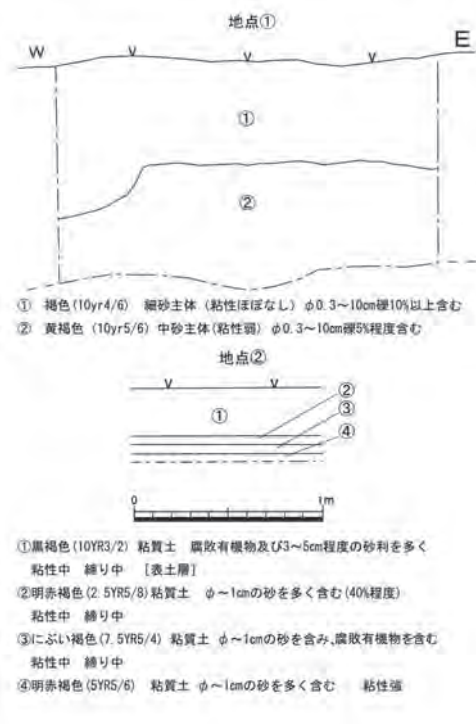
#### KBT 16-01

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山556
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年5月13日
- 6 調査原因 社寺の建築
- 7 調査の概要



第80図 調査の位置 (1 : 5,000)

敷地の南北端で立会調査を実施した。工事による掘削は約120cmであり、確認した土層は遺物や包含層のみであり、遺構は確認できなかった。



第81図 土層断面図 (1 : 40)



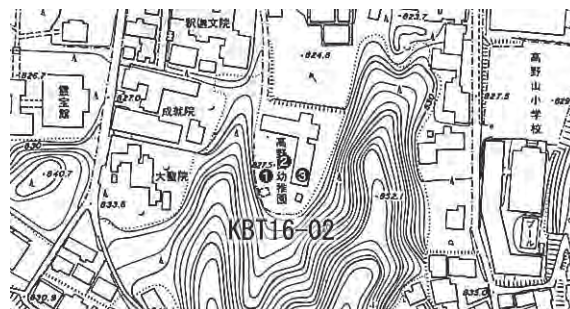
第82図 地点①



第83図 地点②

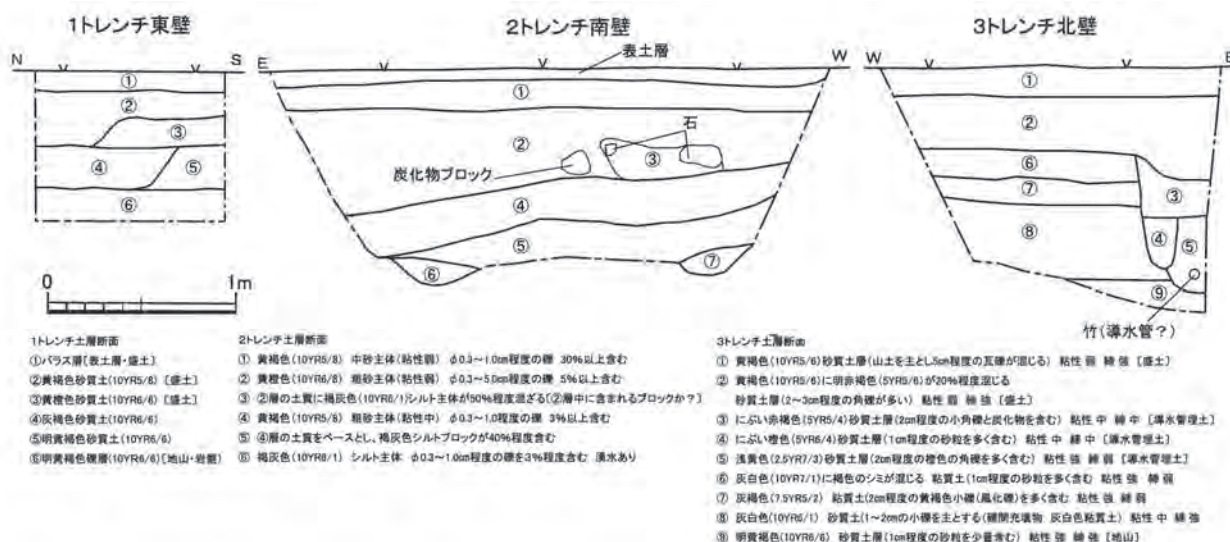
## KBT 16-02

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山352
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年5月26日
- 6 調査原因 倉庫の建築
- 7 調査の概要



第84図 調査の位置 (1:5,000)

倉庫の基礎掘削に伴い、建物の北端中央、南東隅、南西隅の3地点で立会調査を実施した。工事による掘削は、約130cmであり、近代頃と思われる遺構面とそれに伴う導水管跡を確認したのみあり、それ以前の遺構等は確認できなまった。



第85図 土層断面図 (1:40)



第86図 1トレンチ



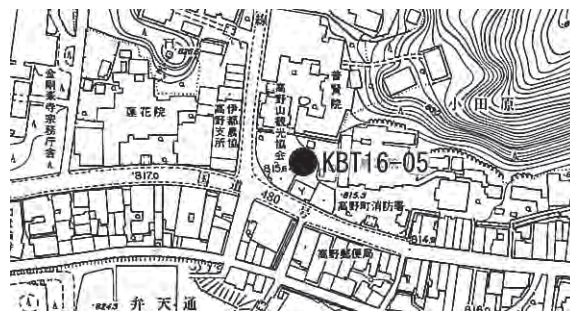
第87図 2トレンチ



第88図 3トレンチ

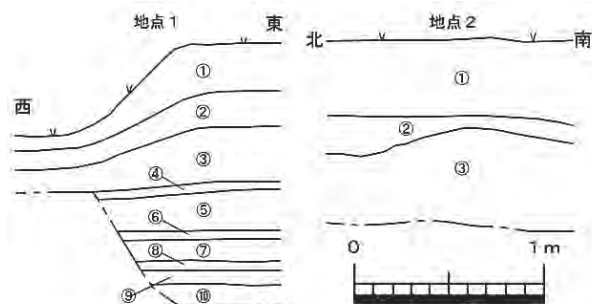
## KBT 16-05

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山600
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年6月27日
- 6 調査原因 防災消火管の補修
- 7 調査の概要



第89図 調査の位置 (1:5,000)

既設管の補修に伴う掘削の際に伴い2地点で立会調査を実施した。工事による掘削は、約130cmであり、確認した土層は、上から暗褐色粘質土（表土）、橙色粘質土（盛土）、褐灰色礫混じり砂質土（盛土）、褐灰色粘質土（旧表土）、灰褐色砂質土、黒褐色粘質土（旧表土）、褐色砂質土、灰褐色粘質土（旧表土）にぶい黄褐色粘質土、にぶい赤褐色粘質土である。近現代以降に複数回の造成により形成されており、3面の旧表土の下が近世～近代にかけての遺構面になると思われる。

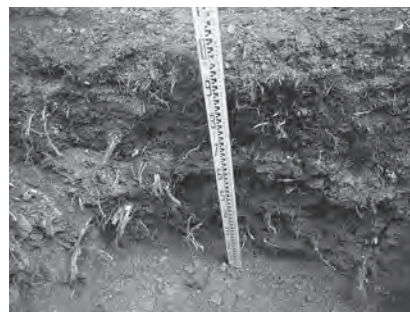


- ①10YR3/3暗褐色粘質土 締弱粘中【表土層】
  - ②7.5YR6/6橙色粘質土 (1~4cmの小礫を30%ほど含む) 締強粘強【盛土(地山再堆積)】
  - ③10YR4/3褐灰色礫混じり砂質土 (1~10cmの礫・瓦礫を60%ほど含む) 締弱粘弱【盛土】
  - ④10YR4/1褐灰色粘質土 (1cm未満の砂粒を10%程含む) 締中粘中【旧表土層】
  - ⑤7.5YR5/2灰褐色砂質土 (粗砂を主体とし1~4cm程の礫を10%程含む) 締弱粘弱
  - ⑥10YR3/2黒褐色粘質土 (炭化物・腐敗有機物を多量に含む) 締弱粘中【旧表土層】
  - ⑦7.5YR4/3褐色砂質土 (2~4mmの赤褐色破砕礫を多く含む) 締中粘中
  - ⑧10YR5/1褐灰色粘質土 (1cm未満の砂粒を10%程含む) 締強粘中【旧表土】
  - ⑨10YR5/4にぶい黄褐色粘質土 (1~4cmの小礫を30%程含む) 締強粘強
  - ⑩5YR4/3にぶい赤褐色粘質土 (1cmまでの砂粒を20%程含む) 締強粘中
- ※最大で3面の旧表土を確認しており、その下面が遺構面になると思われるが遺物の出土状況から古くとも近世期までの面になると思われる。

第90図 土層断面図 (1:40)



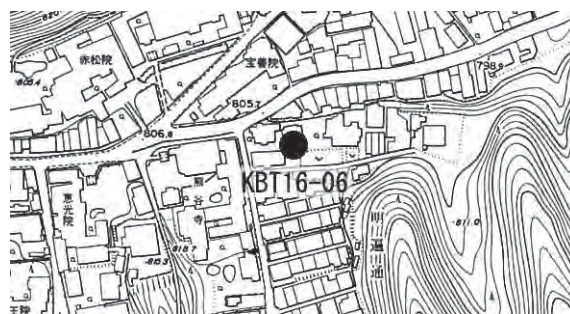
第91図 地点①



第92図 地点②

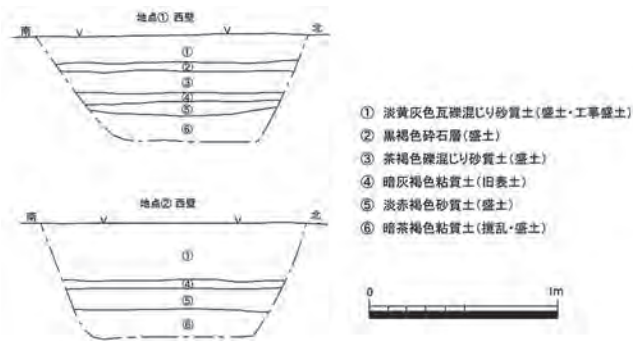
## KBT 16-06

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山514-2
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年7月25日
- 6 調査原因 個人住宅の建築
- 7 調査の概要



第93図 調査の位置 (1:5,000)

基礎掘削に伴い、敷地の南北端の2地点で立会調査を実施した。工事による掘削は、約50cmであり、確認した土層は現代の盛土と旧表土のみである。



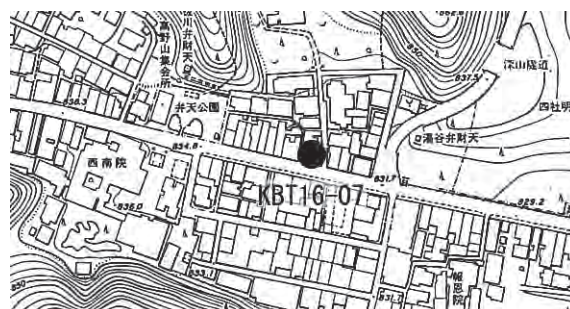
第94図 土層断面図 (1 : 40)



第95図 土層断面 (上地点①、下地点②)

### KBT 16-07

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山229-1
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年9月8日
- 6 調査原因 上下水道敷設
- 7 調査の概要

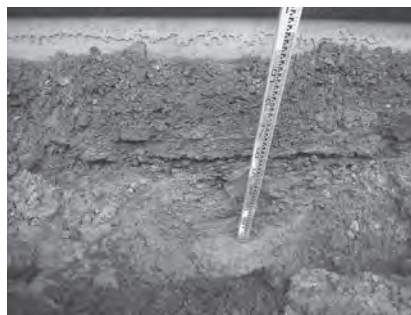


第96図 調査の位置 (1 : 5,000)

上水道管敷設の掘削に伴い、立会調査を実施した。工事による掘削は、約90cmであり、現代の盛土の直下が地山であり、遺構、遺物は確認できなかった。



第97図 土層断面図 (1 : 40)



第98図 土層断面



第99図 掘削状況

### KBT 16-08

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山600他
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年7月7日～7月11日
- 6 調査原因 防災消火管補修
- 7 調査の概要



第100図 調査の位置 (1 : 10,000)

既設管改修に伴い立会調査を実施した。立会地点は、不動院、普賢院南、金剛三昧院北東、成福院北の4

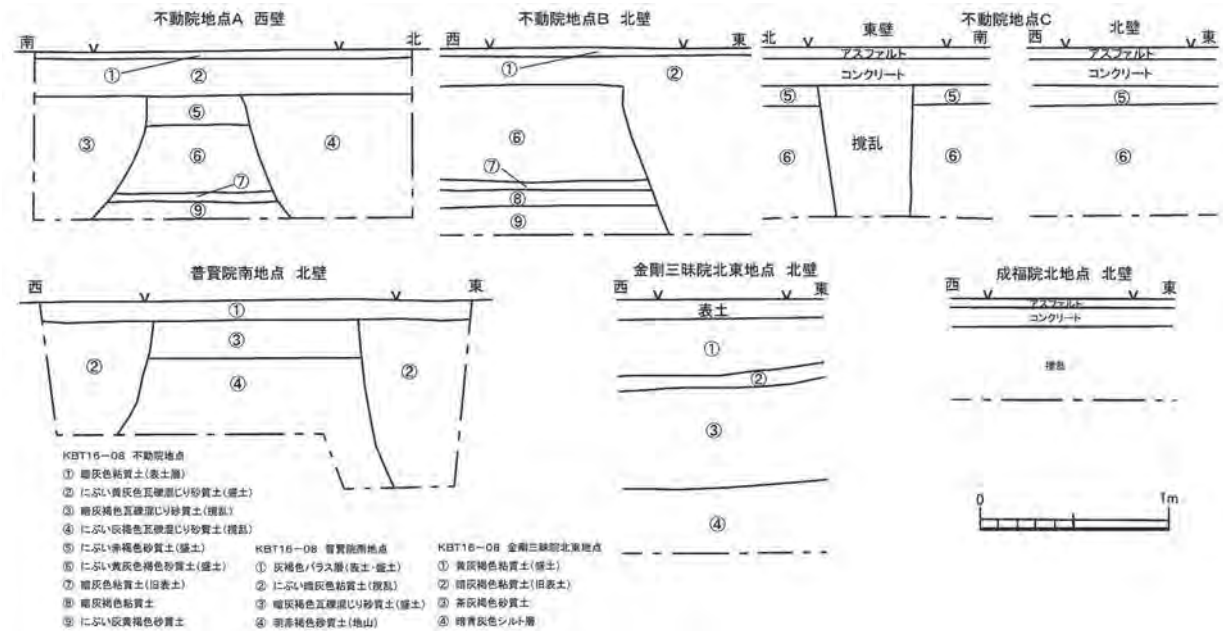
地点である。

不動院地点では、4カ所で立会調査を実施した。約100cmの掘削であり、現地表面から70~80cm下に旧表土層、その上層は、盛土や攪乱となっている。旧表土の下についても遺物、遺構は確認できなかった。

普賢院南地点は、最大で100cmの掘削であり、地表面から30cm下が地山であり、その上は盛土となっている。遺物、遺構は確認できなかった。

金剛三昧院北地点は、約140cmの掘削であり、確認した土層は上から、黄灰褐色粘質土（盛土）、暗灰褐色粘質土（旧表土）、茶灰褐色砂質土、暗青灰色シルトとなっており、遺物、遺構は確認できなかった。

成福院北地点は、約50cmの掘削で、アスファルト等の道路舗装とそれに伴う攪乱となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第101図 土層断面図 (1:40)



第102図 不動院地点A



第103図 不動院地点B



第104図 不動院地点C



第105図 普賢院地点



第106図 金剛三昧院地点

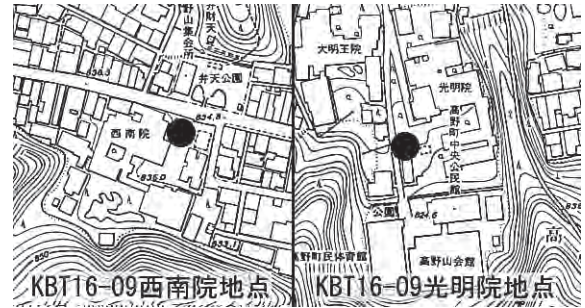


第107図 成福院地点



KBT 16-09

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山249他
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年9月5日
- 6 調査原因 防災消火管補修
- 7 調査の概要



第108図 調査の位置 (1:5,000)

既設管改修に伴い立会調査を実施した。立会地点は、西南院、光明院の2地点である。

西南院地点では、4カ所で立会調査を実施した。工事による掘削は約80cmであり、確認した土層は上から茶褐色粘質土(表土)、暗茶褐色礫混じり砂質土、黄褐色粘質土、灰黄色礫混じり砂質土、淡赤褐色砂質土であり遺物、遺構は確認できなかった。

光明院地点は、地表面から約120cmの掘削であり、地表面から約90cm下までは現代の盛土等であり、その下は、淡黄褐色砂質土、暗灰褐色砂質土(近代~近世包含層)、明黄灰色砂質土(地山)となっている。暗灰褐色砂質土には、近代から近世にかけての少量の土器類が含まれるが、遺構は確認できなかった。



第109図 土層断面図 (1:40)



第110図 光明院地点



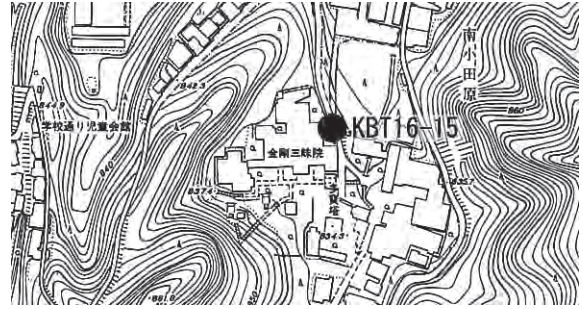
第111図 西南院地点①



第112図 西南院地点②

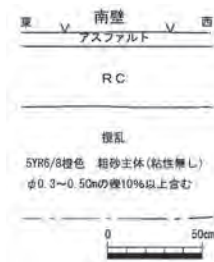
### KBT 16-15

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山425
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城
- 5 調査の期間 平成28年10月8日
- 6 調査原因 防災消防管補修
- 7 調査の概要



第113図 調査の位置 (1:5,000)

既設管改修に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約90cmで、アスファルト等の道路舗装とそれに伴う攪乱となっており、遺物、遺構は確認できなかった。



第114図 土層断面図 (1:40)



第115図 土層断面



第116図 掘削状況

### KBT 16-18

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山349
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年10月26日
- 6 調査原因 排水管改修
- 7 調査の概要



第117図 調査の位置 (1:5,000)

既設管改修に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約60cmで、確認した土層は盛土や既存管に伴う攪乱のみであり遺物、遺構は確認できなかった。



第118図 土層断面図 (1:40)



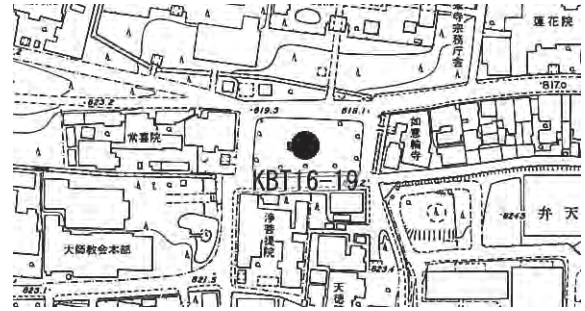
第119図 土層断面



第120図 掘削状況

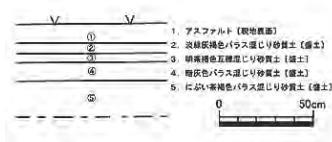
### KBT 16-19

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山366-1
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年12月15日
- 6 調査原因 駐車場改修
- 7 調査の概要



第121図 調査の位置 (1:5,000)

駐車場改修に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約50cmで、アスファルト舗装と駐車場造成に伴う盛土が確認されたのみであり遺物、遺構は確認できなかった。



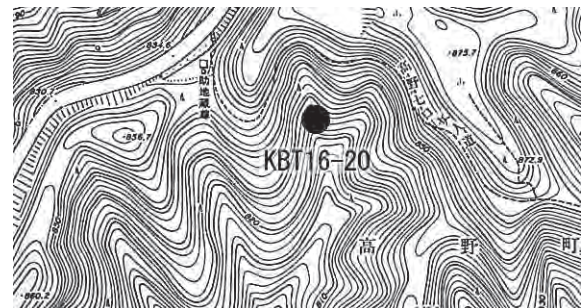
第122図 土層断面図 (1:40)



第123図 土層断面

### KBT 16-20

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山国有林243林班ろ小班
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成28年12月12日  
～平成29年1月5日
- 6 調査原因 遊歩道建設
- 7 調査の概要



第124図 調査の位置 (1:5,000)

遊歩道建設に伴い立会調査を実施した。高野山を囲む女人道に隣接する斜面地の9地点で立会調査を実施した。現地表面下が地山もしくは盛土層となっており、遺物、遺構等は確認できなかった。



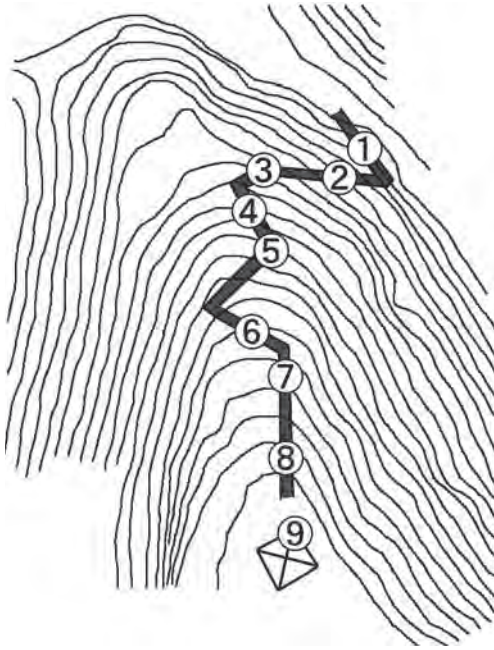
第125図 地点①



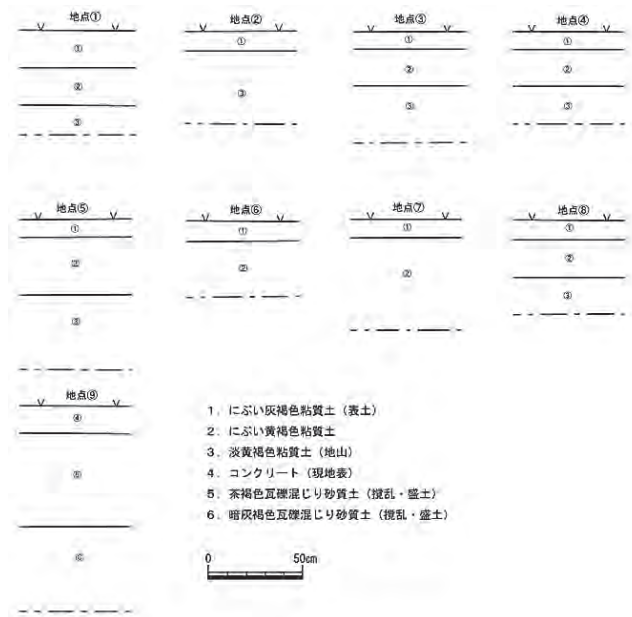
第126図 地点⑤



第127図 地点⑨



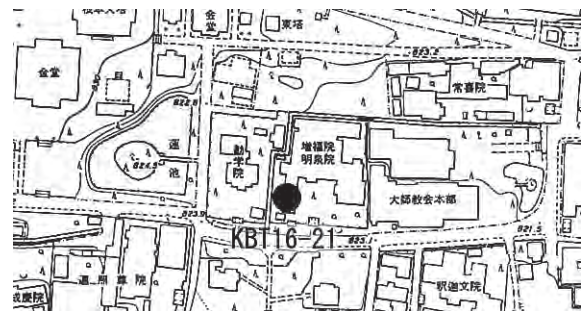
第128図 立会地点位置図



第129図 土層断面図 (1:40)

### KBT 16-21

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 1 遺跡名   | 金剛峯寺遺跡             |
| 2 所在地   | 高野町高野山346-1        |
| 3 調査主体  | 高野町教育委員会           |
| 4 調査担当者 | 木本誠二               |
| 5 調査の期間 | 平成28年12月14日～12月22日 |
| 6 調査原因  | 寺院建設計画に伴う確認調査      |
| 7 調査の概要 |                    |



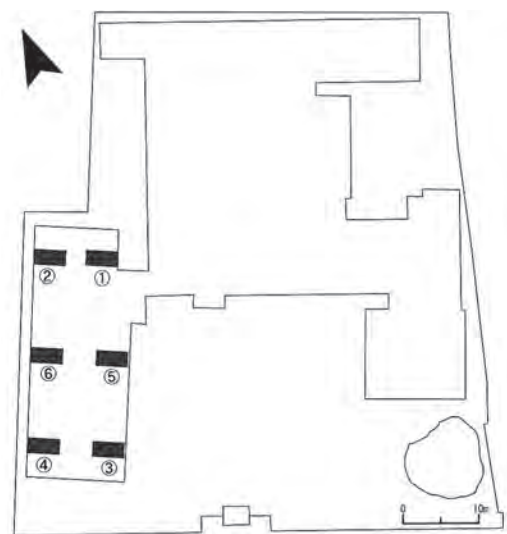
第130図 調査の位置 (1:5,000)

増福院境内において、寺院の建設が計画されたため、敷地内に6本のトレンチを設定し、確認調査を実施した。

1トレンチ (2.3×3.9m) では、現地表面より約160cm下まで掘削し調査を行なった。地表より約60cm下までは現代盛土でその下に近世の遺構面があり、2基の土坑を検出した。近世遺構面の下は、焼土と炭化物による層を挟み灰白色シルト等湿地状況での堆積層が厚くみられる。

2トレンチ (1.9×3.9m) では、現地表面より約160cm下まで掘削し調査を行なった。地表より約70cm下までは、現代盛土であり、その下に近世の遺構面がある。このトレンチ内では遺構は確認できなかった。遺構面の下は、湿地状況での堆積層がみられ、最下層まで瓦器や多量の木片を含む。

3トレンチ (1.9×3.9m) では、現地表面より約90cm下まで掘削し調査を行なった。現地表面より約60cm下に近世の遺



第131図 トレンチ配置図 (1:1,000)

構面があり、掘立柱建物跡の柱穴跡等の遺構を検出した。

4トレンチ (1.9×3.9m) は、トレンチの西半は築山状に盛土されており、地表面の高低差は約40cmある。築山部分を除く地表面から約60cm下に近世の遺構面があり、複数の土坑を検出した。

今回の確認調査で、近世の子院跡とそれ以前の湿地状況での堆積層が確認できた。これにより、当地は中世には湿地状の土地であり、近世に造成され、それ以降、増福院、花王院、心南院等の子院の境内地として利用されており、その遺構が良好に残っていることが明らかとなった。今後付近で開発を行なう際には注意が必要である。



第132図 1トレンチ 全景



第133図 1トレンチ 土層断面



第134図 2トレンチ 全景



第135図 2トレンチ 土層断面



第136図 3トレンチ 全景



第137図 3トレンチ 土層断面



第138図 4トレンチ 全景



第139図 4トレンチ 土層断面



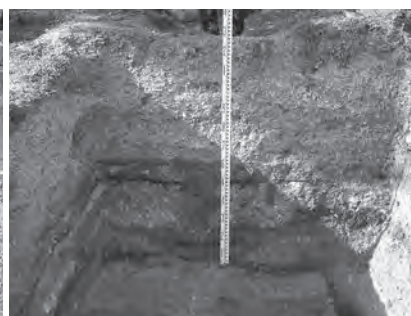
第140図 5トレンチ 全景



第141図 5トレンチ 土層断面



第142図 6トレンチ 全景



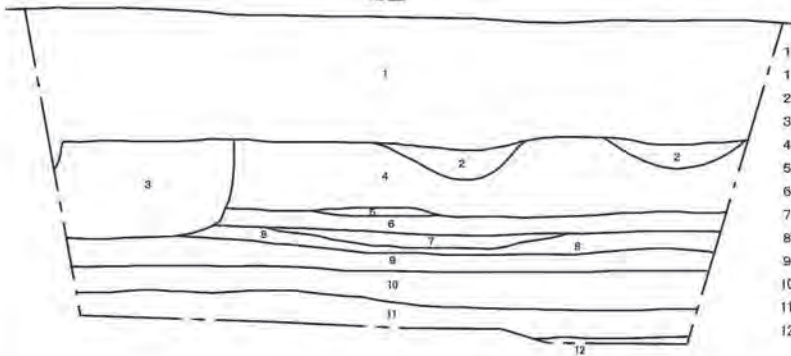
第143図 6トレンチ 土層断面

—西

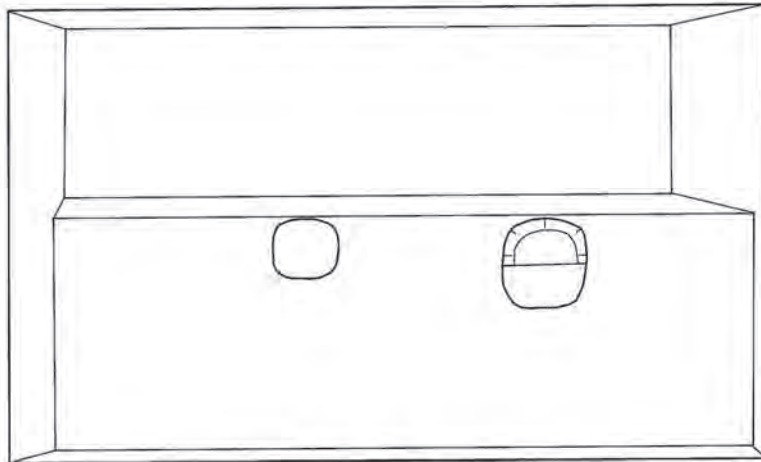
1 トレンチ  
北壁

東

SGL-10cm  
山門南端レベル



- 1 トレンチ
- 1 5YR3/3暗赤褐色粘質土 (瓦礫含む) [現表土・盛土]
  - 2 5B67/1明青灰色粘質土 (瓦礫含む) [攪乱・既存建物基礎]
  - 3 5Y7/3浅黄色砂質土 (拳大の礫含む)
  - 4 10YR6/6明黄褐色砂質土 [遺構面ベース・盛土 (近世)]
  - 5 2.5YR4/4にぶい赤褐色粘質土
  - 6 10YR4/1褐灰色粘質土
  - 7 2.5YR5/6明赤褐色 (炭・焼土で構成)
  - 8 2.5YR7/1灰白色粘質土 [グライ化・湿地状堆積]
  - 9 10YR7/1灰白色粘質土 [グライ化・湿地状堆積]
  - 10 10YR5/1褐灰色粘質土 [グライ化・湿地状堆積]
  - 11 7.5YR7/1灰白色粘質土 [グライ化・湿地状堆積]
  - 12 10YR7/1灰白色シルト [グライ化・湿地状堆積]

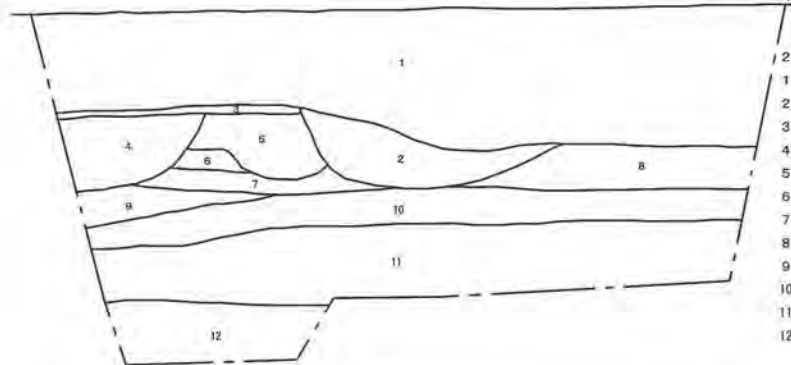


—西

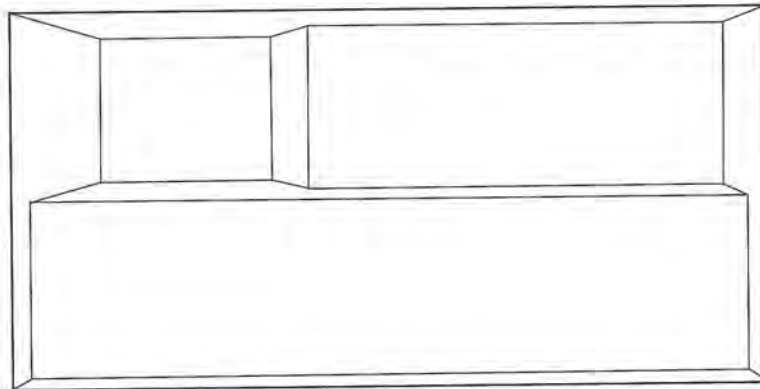
2 トレンチ  
北壁

東

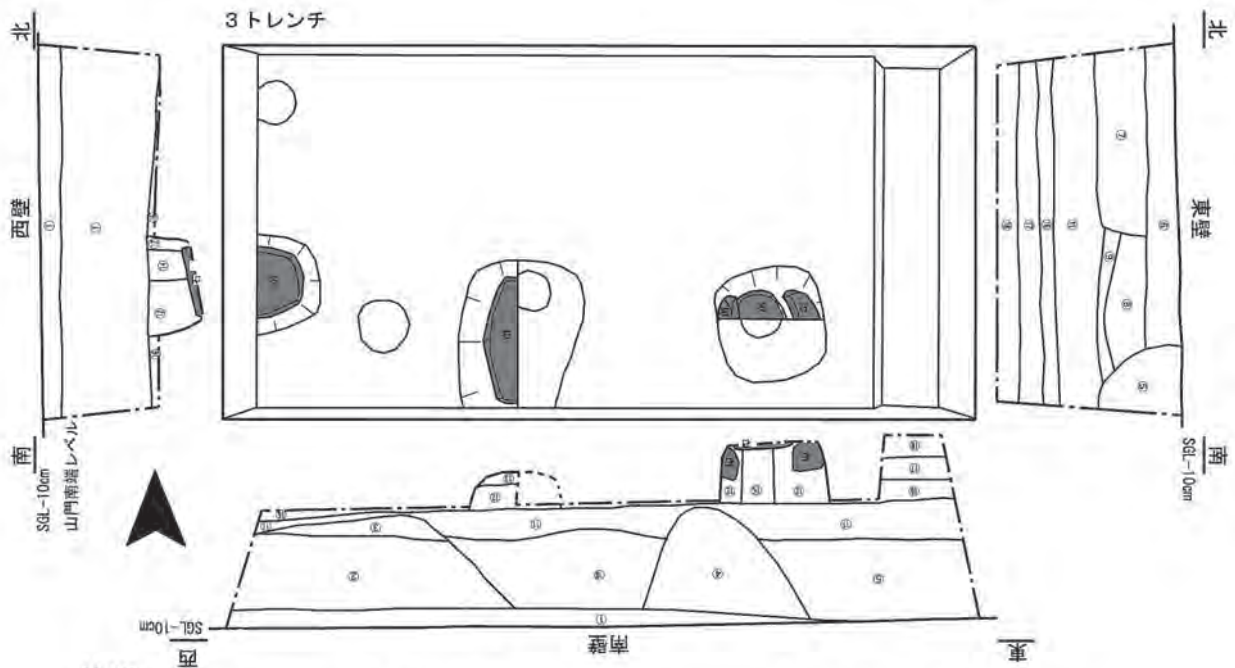
SGL-10cm  
山門南端レベル



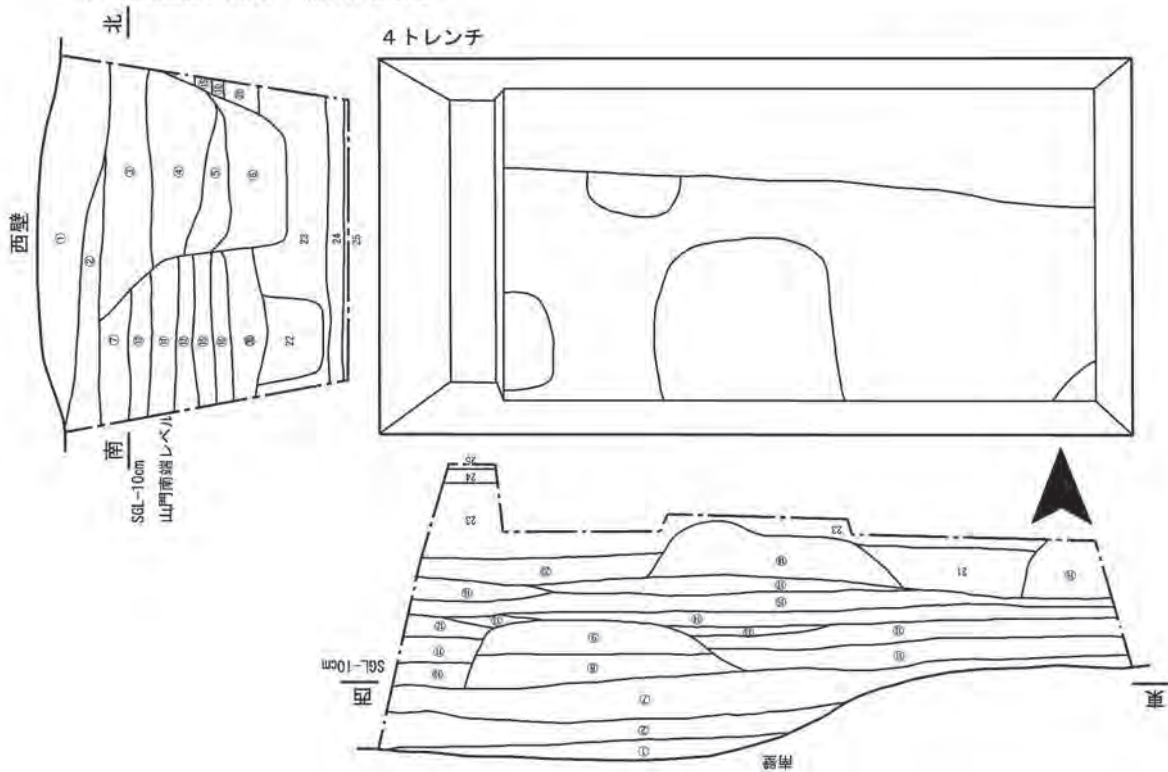
- 2 トレンチ
- 1 10YR2/2黒褐色粘質土 (瓦礫含む) [現表土・盛土]
  - 2 10YR7/3にぶい黄褐色粘質土 [攪乱]
  - 3 10YR7/6明黄褐色砂質土 [盛土]
  - 4 10YR7/8黄褐色粘質土 [攪乱]
  - 5 10YR5/3にぶい黄褐色砂質土 [攪乱]
  - 6 2.5YR7/6明黄褐色砂質土 [遺構面ベース・盛土 (近世)]
  - 7 10YR4/2灰黄褐色砂質土 (炭多量に含む)
  - 8 2.5Y7/4浅黄色砂質土 [遺構面ベース・盛土 (近世)]
  - 9 10YR3/1黒褐色粘質土 [グライ化・湿地状堆積]
  - 10 10YR6/1褐灰色粘質土 (木片多く含む)[グライ化・湿地状堆積]
  - 11 10YR5/1褐灰色粘土 (木片多く含む)[グライ化・湿地状堆積]瓦器片含む
  - 12 10YR7/1灰白色砂質土 [グライ化・湿地状堆積]瓦器片含む



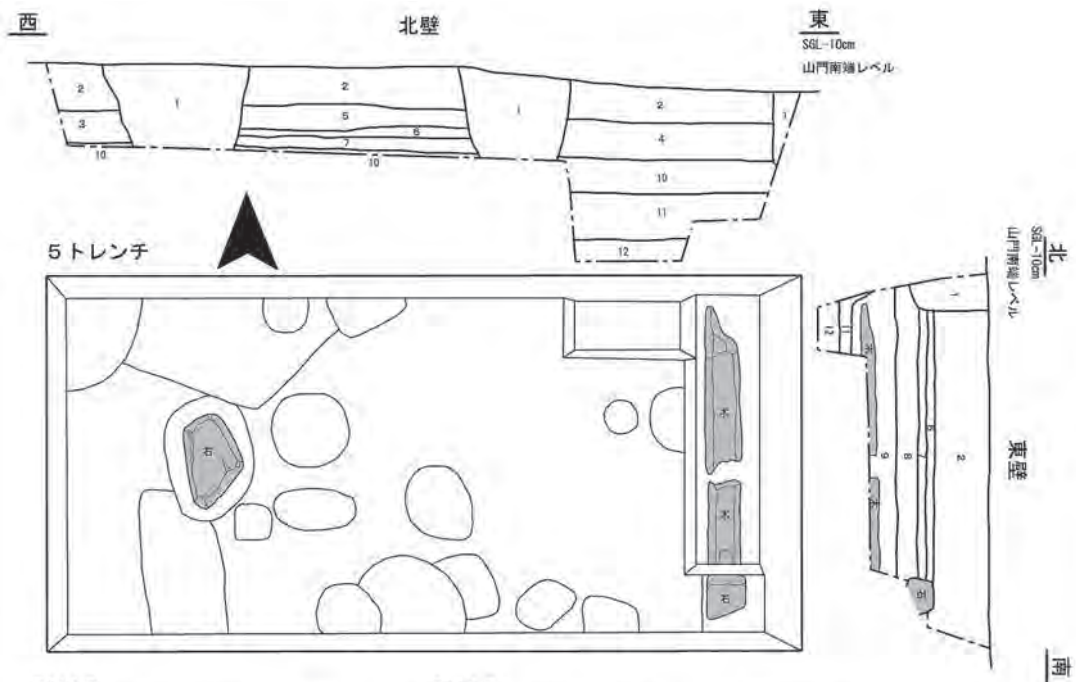
第144図 1・2トレンチ 平面・断面図 (1:40)



- |   |   |   |
|---|---|---|
| <p>3トレンチ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 10YR7/2 にぶい黄褐色粘質土 (五稜含む) 【現表土・盛土】</li> <li>2 5YR6/4にぶい橙色砂質土 【攪乱】</li> <li>3 5YR2/1黒褐色砂質土 (炭化物多く含む) 【攪乱】</li> <li>4 7.5YR4/1褐灰色砂質土 (五稜含む) 【攪乱】</li> <li>5 7.5YR3/1黒褐色砂質土 【攪乱】</li> <li>6 10YR4/2灰黄褐色粘質土 (五稜含む) 【現表土・盛土】</li> <li>7 10Y7/4にぶい黄褐色粘質土 (拳大礫含む) 【攪乱】</li> <li>8 7.5YR7/4にぶい橙色砂質土 【攪乱】</li> <li>9 5YR4/1褐色粘質土 【攪乱】</li> <li>10 7.5YR3/1黒褐色砂質土 【攪乱】</li> <li>11 5YR3/2暗赤褐色砂質土</li> <li>12 10YR5/1褐色粘質土 (拳大礫含む) 【柱穴埋土】</li> <li>13 10YR5/1褐色粘質土 (拳大礫含む) 【柱穴埋土】</li> <li>14 10YR4/2灰黄褐色粘質土 【柱痕】</li> <li>15 10YR2/1黒色粘質土 (炭化物主体) 【柱痕】</li> <li>16 10YR6/6明黄褐色砂質土 【遺構面ベース・盛土 (近世)】</li> <li>17 7.5YR6/6橙色粘質土 (小礫含む) 【盛土 (近世)】</li> <li>18 7.5YR6/1灰色粘質土 (小礫含む) 【グライ化・湿地状堆積】</li> </ol> | <p>4トレンチ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 7.5YR5/6明褐色粘質土 (五稜含む) 【現表土・盛土】</li> <li>2 7.5YR4/2灰黄褐色粘質土 (五稜含む) 【盛土】</li> <li>3 10YR4/1褐灰色粘質土 【攪乱】</li> <li>4 10YR3/1黒褐色粘質土 【攪乱】</li> <li>5 10YR7/4にぶい黄褐色 【攪乱】</li> <li>6 10YR2/1黒色土 (炭化物) 【攪乱】</li> <li>7 7.5YR4/1褐色粘質土 【現表土・盛土】</li> <li>8 7.5YR5/1褐色粘質土 【攪乱】</li> <li>9 10YR2/1黒色土 (炭化物) 【攪乱】</li> <li>10 10YR6/2灰黄褐色粘質土 【盛土】</li> <li>11 2.5YR5/1黄灰色粘質土 【旧表土】</li> <li>12 2.5YR4/1黄灰色粘質土 【盛土】</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>13 2.5YR7/6明黄褐色砂質土 【盛土】</li> <li>14 10YR6/3にぶい黄褐色粘質土 【盛土】</li> <li>15 5YR4/1褐色粘質土 【盛土】</li> <li>16 2.5YR5/6明赤褐色砂質土 【盛土】</li> <li>17 2.5YR7/4淡黄色砂質土 【盛土】</li> <li>18 2.5YR4/2暗黄褐色粘質土 【攪乱】</li> <li>19 7.5YR3/2黒褐色砂質土 (炭・礫土塊少量含む)</li> <li>20 10YR3/2黒褐色粘質土 (炭・礫土塊多く含む)</li> <li>21 10YR4/4褐色粘質土 (粗砂多く含む)</li> <li>22 10YR6/3にぶい黄褐色砂質土 (粗砂多く含む) 【遺構埋土】</li> <li>23 10YR7/6明黄褐色砂質土 【遺構面ベース・盛土 (近世)】</li> <li>24 5YR6/1灰色砂質土 (粗砂多く含む) 【盛土・グライ化】</li> <li>25 5Y3/1オリーブ黒色粘土 (粗砂含む) 【グライ化・湿地状堆積】</li> </ol> |
|---|---|---|



第145図 3・4トレンチ 平面・断面図 (1:40)

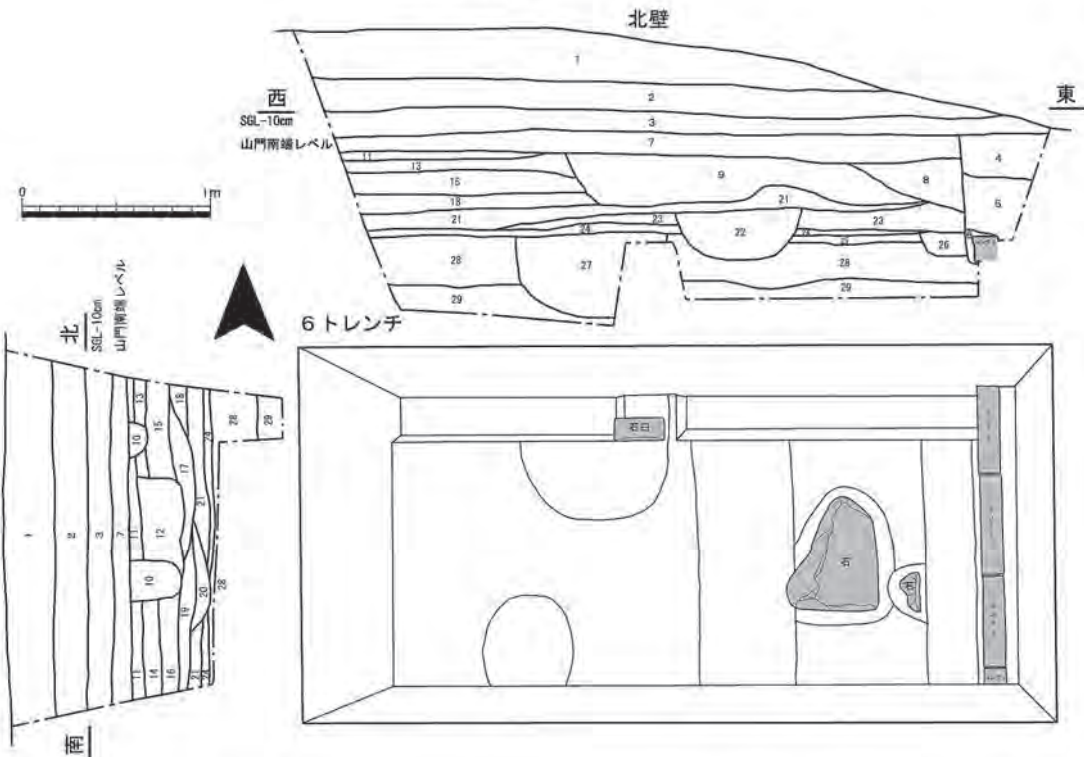


5 トレンチ

- 1 10YR4/1灰黄褐色砂質土 (瓦礫含む) 【攪乱】
- 2 10YR4/2灰黄褐色砂質土 【表土・盛土】
- 3 2.5Y6/6明黄褐色砂質土 【盛土】
- 4 10YR4/3にぶい黄褐色砂質土 【盛土】
- 5 10YR6/2灰黄褐色砂質土 【盛土】
- 6 10YR7/6明黄褐色砂質土
- 7 10YR4/1褐灰色粘質土 【旧表土】
- 8 10YR5/3にぶい黄褐色砂質土 【導水管理土】
- 9 10B6/1明青灰色粘土 【導水管理土・グライ化】
- 10 10YR7/6黄褐色砂質土 【遺構面ベース・盛土 (近世)】
- 11 10YR5/6黄褐色砂質土 【盛土 (近世)】
- 12 5Y3/1オリブ黒色粘土 【グライ化・湿地状堆積】

6 トレンチ

- 1 7.5YR7/6橙色砂質土 【表土・盛土】
- 2 7.5YR6/6橙色砂質土 【盛土】
- 3 10YR7/4にぶい黄褐色砂質土 【盛土】
- 4 10YR4/1褐灰色粘質土 【攪乱】
- 5 10YR4/2灰黄褐色粘質土 【攪乱】
- 6 2.5YR5/1黄灰色砂 (細砂) 【攪乱】
- 7 7.5YR6/1灰色粘質土 【盛土】
- 8 10YR5/3にぶい黄褐色砂質土 【攪乱】
- 9 10YR6/4にぶい黄褐色砂質土 【攪乱】
- 10 10YR5/2灰黄褐色砂質土 【攪乱】
- 11 5YR6/6褐色砂質土 【盛土】
- 12 7.5YR5/2灰褐色砂質土 【攪乱】
- 13 10YR7/3にぶい黄褐色砂質土 【盛土】
- 14 7.5YR5/2灰褐色粘質土
- 15 10YR4/3にぶい黄褐色粘質土 【旧表土】
- 16 7.5YR5/4にぶい褐色砂質土
- 17 10YR5/1褐灰色粘質土
- 18 10YR4/2灰黄褐色砂質土
- 19 7.5YR4/1褐灰色粘質土 (炭化物多く含む)
- 20 5YR4/3にぶい赤褐色粘質土 (炭・焼土多く含む)
- 21 7.5YR5/2灰褐色粘質土 (炭化物多く含む)
- 22 2.5Y6/2灰褐色砂質土 【遺構埋土】
- 23 10YR7/3にぶい黄褐色砂質土 【盛土】
- 24 10YR2/1黒色炭層
- 25 10YR6/2灰黄褐色粘質土
- 26 7.5YR5/2灰褐色粘質土 【遺構埋土】
- 27 2.5Y5/2暗灰褐色砂質土 【遺構埋土】
- 28 10YR7/6明黄褐色砂質土 【遺構面ベース・盛土 (近世)】
- 29 5Y4/1灰色粘土 【グライ化・湿地状堆積】

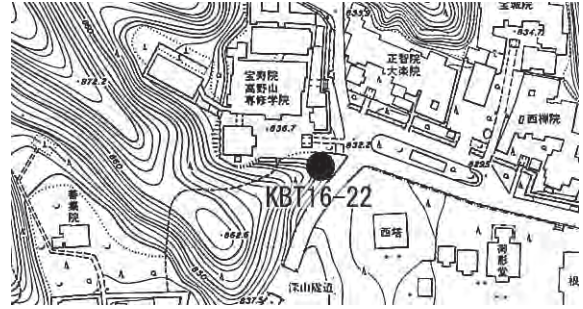


第146図 5・6トレンチ 平面・断面図 (1:40)



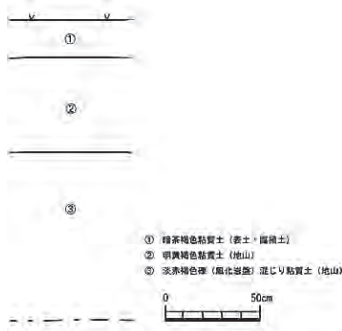
## KBT 16-22

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山字西院谷94-3
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年3月14日
- 6 調査原因 電柱新設
- 7 調査の概要



第147図 調査の位置 (1:5,000)

電柱の設置に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約150cmで、厚さ約20cmの表土層の下は地山となっており、遺物、遺構等は確認できなかった。



第148図 土層断面図 (1:40)



第149図 土層断面

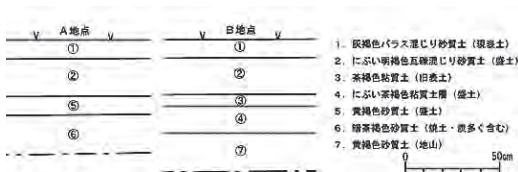
## KBT 16-24

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山497
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 池田一城・木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年1月23日
- 6 調査原因 管敷設・石畳設置
- 7 調査の概要



第150図 調査の位置 (1:5,000)

管の埋設等に伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約70cmで、現地表面から、約50cm下までは盛土と旧表土であり、その下に地山や炭化物等を含む層があるが、遺物、遺構等は確認できなかった。



第151図 土層断面図 (1:40)



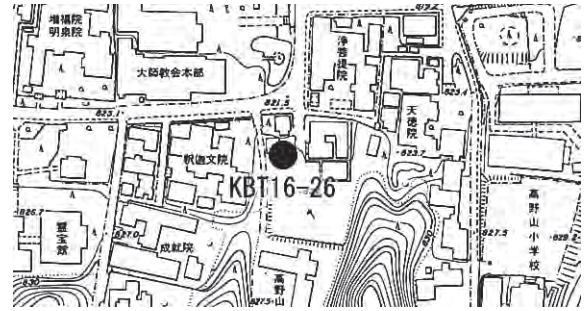
第152図 A地点



第153図 B地点

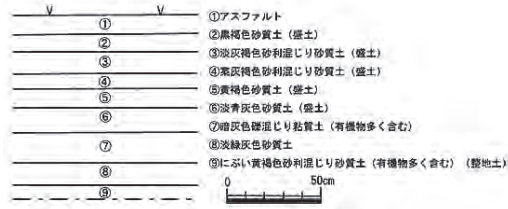
### KBT 16-26

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山359-3
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年3月15日
- 6 調査原因 公衆トイレ建設
- 7 調査の概要

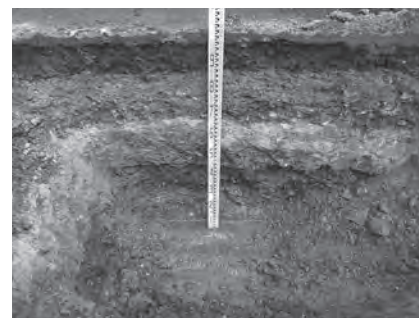


第154図 調査の位置 (1:5,000)

公衆トイレ建設の伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約100cmで、現地表面から約95cm下までは、駐車場造成に伴う盛土等であり、その下はにぶい黄褐色砂利混じり砂質土となる。この層は、同地で行なわれた平成17年の確認調査 (KBT 05-21) で確認された整地層 (当時の地表面造成に関する層) であり、これより下層には近世以前の遺構面が3面存在する。



第155図 土層断面図 (1:40)



第156図 土層断面

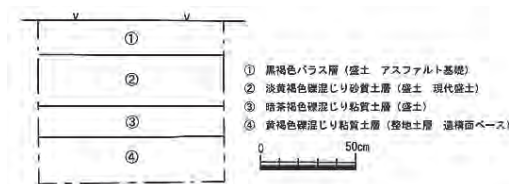
### KBT 16-27

- 1 遺跡名 金剛峯寺遺跡
- 2 所在地 高野町高野山字南谷357
- 3 調査主体 高野町教育委員会
- 4 調査担当者 木本誠二
- 5 調査の期間 平成29年7月4日
- 6 調査原因 無線基地局建設
- 7 調査の概要



第157図 調査の位置 (1:5,000)

無線基地局建設の伴い立会調査を実施した。工事による掘削は約90cmで、現地表面から約60cm下までは、駐車場造成に伴う盛土等であり、その下は黄褐色礫混じり粘質土である。この層は、出土遺物から、近世～近代の整地層になると思われる。



第158図 土層断面図 (1:40)



第159図 土層断面

# 報告書抄録

ふりがな	へいせい28ねんど こうやちようぶんかざいちようさねんぼう
書名	平成28年度 高野町文化財調査年報
副書名	
巻次	
シリーズ名	高野町文化財調査報告
シリーズ番号	第6集
編集者名	木本誠二
編集機関	高野町教育委員会
所在地	和歌山県伊都郡高野町大字高野山486番地
発行年月日	2018年3月30日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
		市町村	遺跡番号										
金剛峯寺境内 KBS16-02	和歌山県伊都郡高野町 高野山548	30344	3	34°22'05"	135°60'57"	20160902	1.2㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-03	和歌山県伊都郡高野町 高野山152	30344	3	34°21'32"	135°58'01"	20160706 ~20160823	17.5㎡	消火管補修	社寺		なし	土師器 磁器等	
金剛峯寺境内 KBS16-05	和歌山県伊都郡高野町 高野山548	30344	3	34°22'20"	135°60'60"	20161006	0.72㎡	墓所改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-06	和歌山県伊都郡高野町 高野山548	30344	3	34°22'07"	135°60'58"	20161007	0.04㎡	墓標設置	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-07	和歌山県伊都郡高野町 高野山553	30344	3	34°22'18"	135°60'54"	20161108	2.9㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-08	和歌山県伊都郡高野町 高野山553	30344	3	34°21'93"	135°60'47"	20161111	1.7㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-09	和歌山県伊都郡高野町 高野山548	30344	3	34°21'73"	135°60'35"	20161118	1.5㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
高野参詣道 KBS16-10	和歌山県伊都郡高野町 高野山733	30344	2	34°21'27"	135°59'36"	20170118	11㎡	管路設置	交通		なし	なし	
高野参詣道 KBS16-11	和歌山県伊都郡高野町 高野山字園見嶽24	30344	2	34°23'98"	135°60'31"	20170331	1㎡	境界杭設置	交通		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-12	和歌山県伊都郡高野町 高野山548	30344	3	34°21'83"	135°60'46"	20170322	11㎡	墓所改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-13	和歌山県伊都郡高野町 高野山152	30344	3	34°21'34"	135°57'91"	20170614 ~20170620	124㎡	防犯設備 設置	社寺		土坑等	銅製品	
金剛峯寺境内 KBS16-14	和歌山県伊都郡高野町 高野山152	30344	3	34°21'36"	135°57'99"	20170524 ~20170525	2㎡	避雷針改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺境内 KBS16-15	和歌山県伊都郡高野町 高野山548	30344	3	34°21'76"	135°60'39"	20170525	3㎡	墓所建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-01	和歌山県伊都郡高野町 高野山556	30344	4	34°21'39"	135°59'51"	20160513	6㎡	社寺建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-02	和歌山県伊都郡高野町 高野山352	30344	4	34°21'08"	135°58'30"	20160526	5㎡	倉庫建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-05	和歌山県伊都郡高野町 高野山600	30344	4	34°21'34"	135°58'67"	20160627	10㎡	消火管補修	社寺		なし	石造物等	
金剛峯寺遺跡 KB T16-06	和歌山県伊都郡高野町 高野山514-2	30344	4	34°21'28"	135°59'54"	20160725	3㎡	個人住宅 建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-07	和歌山県伊都郡高野町 高野山229-1	30344	4	34°21'28"	135°57'63"	20160908	1㎡	水道管敷設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-08	和歌山県伊都郡高野町 高野山600	30344	4	34°21'18"	135°59'08"	20160707 ~20160711	21㎡	消火管補修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-09	和歌山県伊都郡高野町 高野山249	30344	4	34°21'28"	135°57'52"	20160905	7.6㎡	消火管補修	社寺		なし	陶器	
金剛峯寺遺跡 KB T16-15	和歌山県伊都郡高野町 高野山425	30344	4	34°21'03"	135°58'72"	20161008	2㎡	消火管補修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-18	和歌山県伊都郡高野町 高野山349	30344	4	34°21'17"	135°58'21"	20161026	16㎡	排水管改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-19	和歌山県伊都郡高野町 高野山366-1	30344	4	34°21'29"	135°58'38"	20161215	12㎡	駐車場改修	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-20	和歌山県伊都郡高野町 高野山園有林243林班ろ小班	30344	4	34°21'09"	135°57'23"	20161212 ~20170105	103㎡	遊歩道建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-21	和歌山県伊都郡高野町 高野山346-1	30344	4	34°21'22"	135°58'13"	20161214 ~20161222	50㎡	遺跡確認	社寺	中世 ~近世	柱穴・溝 土坑等	瓦器・陶器 磁器・瓦等	
金剛峯寺遺跡 KB T16-22	和歌山県伊都郡高野町 高野山字西院谷94-3	30344	4	34°21'40"	135°57'80"	20170314	5㎡	電柱建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-24	和歌山県伊都郡高野町 高野山497	30344	4	34°21'25"	135°59'40"	20170123	200㎡	管敷設 石畳設置	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-26	和歌山県伊都郡高野町 高野山359-3	30344	4	34°21'18"	135°58'30"	20170315	66㎡	公衆トイレ 建設	社寺		なし	なし	
金剛峯寺遺跡 KB T16-27	和歌山県伊都郡高野町 高野山字南谷357	30344	4	34°21'13"	135°58'34"	20170704	2㎡	無線基地局 設置	社寺		なし	なし	

不許複製

---

(高野町文化財調査報告書 第6集)

## 平成28年度 高野町文化財調査年報

2018年3月30日 発行

編集者：高野町教育委員会

発行者：高野町教育委員会  
和歌山県伊都郡高野町大字高野山486番地

印刷：株式会社 ウイング

---

